

**平成 29 年度**

# **業務年報**

**大分県農林水産研究指導センター**

# 平成29年度 業務年報

## 目次

I	大分県農林水産研究指導センターの概要	1
1	農林水産研究指導センターの組織	1
2	試験研究課題の重点化と評価の徹底	2
3	情報発信機能の強化	6
4	試験研究機関の連携推進	8
5	研究員の資質向上	8
6	知的財産権の取得状況	1 2
7	九州大学との連携	1 2
8	受賞、学位取得の状況	1 3
9	主要な行事・会議等	1 4
1 0	各所属の業務・試験研究	1 4
1 1	予算概要	1 5
II	研究部・グループの概要	1 6
1	農業研究部	1 6
2	水田農業グループ	2 6
3	果樹グループ	3 1
4	花きグループ	3 7
5	畜産研究部	4 2
6	林業研究部	4 8
7	きのこグループ	5 3
8	水産研究部（浅海・内水面グループ含む）	6 0
	農林水産研究指導センター研究部・グループの所在地及び連絡先	6 7

# I 大分県農林水産研究指導センターの概要

## 1. 農林水産研究指導センターの組織

平成17年4月に、農業、畜産、林業、水産の各試験研究機関を統合し、「農林水産研究センター」を設置した。その後の農林水産業を取り巻く環境や情勢の変化を踏まえ、「産地間競争に打ち勝ち、もうかる農林水産業」を実現するため、現場ニーズに応えた研究、研究のスピード化、成果の迅速な普及をめざして研究指導体制を強化し、平成22年4月に「農林水産研究指導センター」に名称を変更した。また、環境対策をはじめ分野を超えた研究課題に対し、連携強化を図るため、農業・畜産・林業・水産の4研究部に再編するとともに、効率的・効果的な研究開発を行うため、チーム制を導入した。組織全体を統括するため、センター長と総務予算担当、研究企画担当を豊後大野市に配置した。

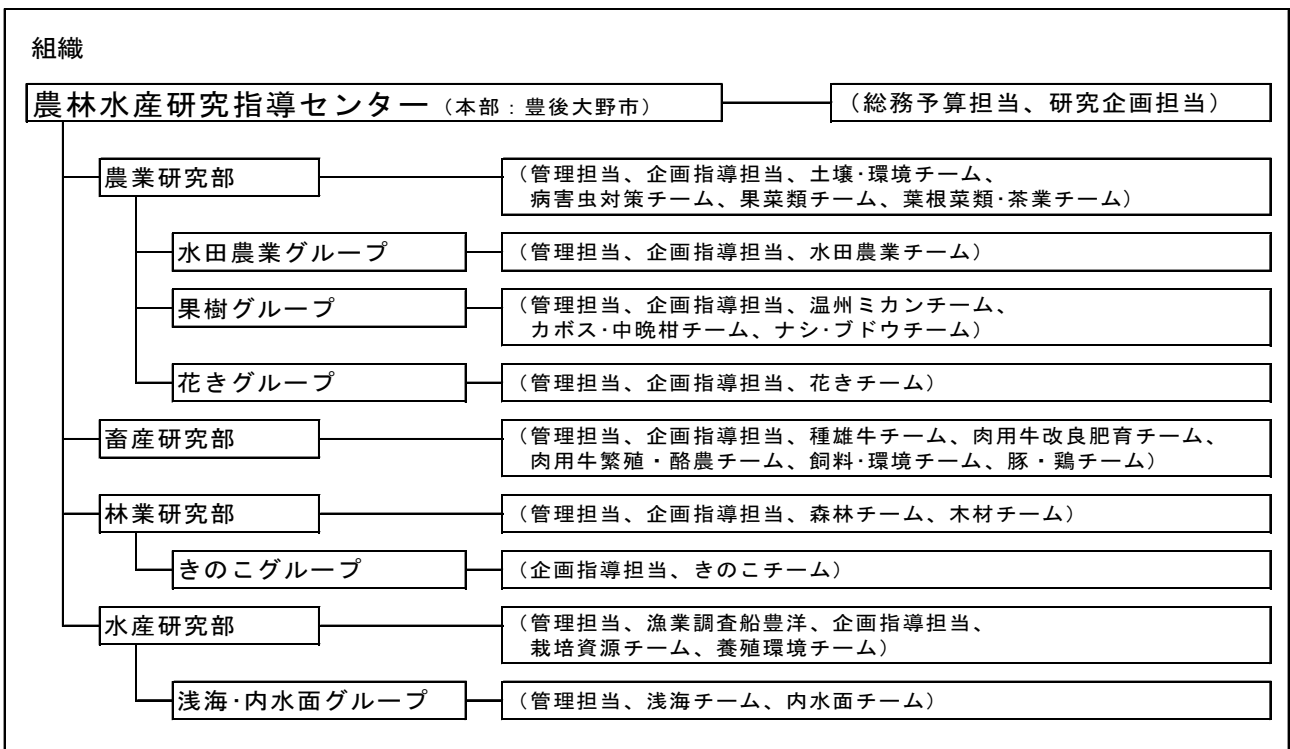
平成23年4月に宇佐市から農業研究部の「土壌・環境チーム」と「病害虫チーム」を、6月には「イチゴチーム」を豊後大野市に移転した。また、平成25年4月より、農業研究部の「ネギ類チーム」を、「ネギ・イモ類チーム」に、畜産研究部の「豊後牛改良チーム」を、「肉用牛改良肥育チーム」に、「肉用牛・酪農チーム」を、「肉用牛繁殖・酪農チーム」に名称変更した。さらに、畜産研究部の家畜伝染病防疫体制強化を図るため、新たに種雄牛舎を建設し、「種雄牛チーム」を新設した。

平成28年3月に「大分県農林水産試験研究基本指針」を作成し、「変化に対応し、挑戦と努力が報われる農林水産業を実現するための研究開発を行う。」ことを基本理念として、成果の活用先（ターゲット）を明確にして経済性を重視した研究開発を行い、農林水産業の創出額増加に寄与することとした。

平成28年4月に、農業研究部の「病害虫チーム」を「病害虫対策チーム」に、「イチゴチーム」と「トマト・ピーマンチーム」を「果菜類チーム」に、「ネギ・イモ類チーム」と「茶業チーム」を「葉根菜類・茶業チーム」に、水田農業グループの「作物品種チーム」と「作物栽培チーム」を「水田農業チーム」に組織改正を行い、試験研究の効率化を図った。

今後も引き続き、研究員自らが普及指導員等と一緒に生産現場に赴き、開発した技術を生産者へ指導、技術実証を行うなど、普及指導体制の強化に取り組むこととしている。

なお、豊後大野市のセンターでは、試験研究機関の予算の総合調整、研究課題の決定・進行管理、共同研究調整、知的財産取得・活用、課題評価・成果公表、研究員の資質向上、産学官交流・連携促進などの業務を行う。



農林水産研究指導センター各場所別職員配置表

平成29年4月1日現在

機関	事務吏員	技術吏員					技能職員 事務補佐	合計
		研究	行政	普及	海事	計		
農林水産研究指導センター(本部)	3		6			6		9
農業研究部	5	34	1	3		38	7	50
水田農業グループ	3	9	1	1		11	5	19
果樹グループ	1	14	1	2		17	5	23
花きグループ	1	8	1			9	4	14
畜産研究部	5	22	2	3		27	21	53
林業研究部	3	12	1	1		14	2	19
きのこグループ		6	1	2		9	1	10
水産研究部	3	16	1		7	24		27
浅海・内水面グループ	1	11	1			12		13
合計	25	132	16	12	7	167	45	237

2. 試験研究課題の重点化と評価の徹底

試験研究を効率的に実施するため、概ね100課題に厳選し、試験研究のスピード化を図るため、研究期間を原則3年間としている。

また、現場ニーズを広く収集し、農林水産業の振興、県民生活の向上などに資する試験研究を行うために、ホームページや文書などで一般県民や生産者、関係団体などに試験研究課題に対する要望調査を行い、関係者等から147件の要望を収集した。

研究課題の設定や進行管理に当たっては、収集した要望の中から試験研究として取組可能な課題について内部・外部評価を厳格に行い、評価結果や進捗状況を公表した。

(1) 評価の種類別対象課題

1) 事前評価

開発しようとする技術の内容や手法を精査し、予算要求を行う事前の段階において新規候補課題のすべてについて、県民のニーズや政策的なニーズ、目標達成の可能性など全ての観点から評価を得て、課題実施の適否について判断した(内部評価は7/19、外部評価は8/23に実施)。

2) 事後評価

試験研究結果検討会において各所属で検証し、現地移転の促進や次期試験研究計画の策定等に活かすため、試験研究終了の翌年度に研究目標等に対する達成状況について検証した。

(2) 所属内新規試験研究課題検討会

現場ニーズにあった試験研究計画とするとともに、試験研究結果について検証し、現地移転を促進した。開催は各研究部、グループ単位で行い、研究員、生産原課の担当職員、普及指導員、生産者代表等に出席を求め、研究実施の必要性、方法の適否、成果とその普及手法等について検討した。

(3) 試験研究推進本部会議並びに試験研究企画評価会議(内部評価) : 7月19日

農林水産部長、審議監、県庁生産原課の課室長、農業大学校長並びに農林水産研究指導センター一長で構成する「試験研究推進本部会議」と総務部・企画振興部・生活環境部の総務企画監、商工労働部の産業企画監、産業科学技術センター企画連携担当総括並びに農林水産部構造改革企画監及び流通企画監で構成する「試験研究企画評価会議」を合同開催(県職員による内部評価)し、全ての事前評価対象研究課題について評価を受けた。

(4) 外部評価委員会(外部評価):8月23日

経済界や大学の学識経験者、流通関係者や生産者代表をもって構成する外部評価委員により、「研究課題の必要性」、「研究課題の社会的・経済的効果」及び「県が行う必要性」について評価を受けた。

委員名	役職等	選 定 理 由
わだ やすひろ 和田 康宏	(株)日本政策投資銀行大分事務所長	地域経営や地域づくりに関する豊富な情報を踏まえた評価が期待できる。
もとや 本谷 るり	大分大学 経済学部 教授 (経営戦略論) (経営組織論)	大分県新長期総合計画策定県民会議委員(産業振興部会)、大分県行財政改革推進委員会委員、大分県企業局経営評価委員会委員、大分県総合評価落札方式審査委員会委員 一次産業の経営戦略的な観点から研究課題の妥当性について評価を期待できる。
ながお きくお 長尾 喜久男	京都青果合同(株) 執行役員部長	大分県マーケティングアドバイザー 大消費地における商品化を踏まえた技術開発について助言と評価が期待できる。
ふくやま ひろひさ 福山 博久	イオン九州(株) 九州商品開発部 農産グループマネージャー	大分県マーケティングアドバイザー 大消費地における商品化を踏まえた技術開発について助言と評価が期待できる。
ふじさわ まさのり 藤澤 政則	大分一村一品(株) 前代表取締役社長	県内でのマーケティングの最前で携わってきた経験を踏まえ、技術開発の必要性等について評価が期待できる。
おおくぼ つとむ 大窪 勉	小ネギ生産者	大分”味一ねぎ”生産部会副部会長 葱屋おおくぼ(有) 代表取締役
こんどう かずよし 近藤 和義	肉用牛経営者	県議、大分県畜産協会会長 おおいた森林組合長 元大分県指導農業士会会長
たじま しんたろう 田島 信太郎	林業経営者	田島山業(株) 代表取締役 日本林業経営者協会理事 NPO法人森づくりフォーラム理事
わたなべ ひでとし 渡邊 英敏	小型底びき網漁業者	大分県漁業士連絡協議会会長 県漁協宇佐支店底引き網協議会会長、大分海区漁業調整委員 元大分県漁業協同組合宇佐地区漁業運営委員、元大分県漁業協同組合青年部長

(5) 平成30年度研究課題の決定

内部評価で総合得点60点以上の評価を得た新規候補課題については、次の外部評価に進み、60点未満のものについてはこの時点で外部評価対象課題から除外する。今回内部評価を受けた事前評価対象課題数は24課題で、すべての課題が60点以上となり、外部評価対象課題となった。

外部評価発表課題は内部評価を通過した全ての新規課題を対象とした。外部評価で総合60点以上の評価を得た課題については、平成30年度予算要求課題候補とすることとしており、今回外部評価を受けた24課題数はすべて総合得点60点以上であった。

平成30年度の新規候補課題数は24課題であり、全課題を予算要求課題として採択した。

(6) 試験研究アドバイザー

平成29年度から農林水産試験研究アドバイザーを置き、各所属の内部会議に招集するなど柔軟な対応が可能となるように見直しを行い、学識経験者、消費流通関係者等のアドバイザーから、新規研究課題をはじめ多くの分野において専門的かつ技術的アドバイスを受けた。

平成29年度前期(平成29年4月1日～平成29年9月30日)  
大分県農林水産試験研究アドバイザー一覧

部門	所 属 名	職 名	氏 名
土壌・環境	国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 環境農学部 生産環境科学講座	教授	平館 俊太郎
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 生産環境研究領域 土壌肥料グループ	グループ長	古賀 伸久
病害虫	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 生産環境研究領域 病害グループ	グループ長	宮坂 篤
	一般社団法人 九州病害虫防除推進協議会	会長	山中 正博
野菜	国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 資源生物科学部門 農業生物科学講座	准教授	尾崎 行生
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 園芸研究領域	園芸研究 領域長	沖村 誠
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 企画部産学連携室	農業技術 コミュニケーター	杉本 光穂
茶業	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門 茶業研究領域茶育種ユニット(枕崎茶業研究拠点)	上級研究員	吉田 克志
水田農業	三和酒類株式会社 取締役 統轄部長	取締役	高下 秀春
	国立大学法人 九州大学 大学院農学研究院 資源生物科学部門 農業生産生態学講座 九州大学農学部附属農場	教 授	望月 俊宏
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 水田作研究領域 水田栽培グループ	グループ長	中野 洋
果樹	国立大学法人 鹿児島大学 かごしまCOCセンター(地域活性化センター)	特任教授	富永 茂人
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター	九州沖縄果樹 研究調整監	根角 博久
花き	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 園芸研究領域	上級研究員	今村 仁
	学校法人 東海大学 農学部	教授	田中 孝幸
	宇田花づくり研究所	代表	宇田 明
畜産	国立大学法人 鹿児島大学 学術研究院 農水産獣医学域 農学系(農学部農業生産科学科 畜産科学コース)食肉科学研究室	教 授 博士(農学)	後藤 貴文
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 畜産草地研究領域 飼料生産グループ	グループ長 博士(農学)	服部 育男
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 畜産草地研究領域 肉用牛生産グループ	グループ長 博士(農学)	竹之内 直樹
林業	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター九州育種場	育種課長	倉本 哲嗣
	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所山地 防災研究グループ	グループ長	黒川 潮
	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所 森林生態系研究グループ	主任研究員	野宮 治人
	国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 環境農学部 サステナブル資源科学講座	准 教 授	藤本 登留
きのこ	国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 環境農学部 森林環境科学講座	教 授	大賀 祥治
	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所 森林微生物管理研究グループ	主任研究員	宮崎 和弘
水産	国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 資源生物科学部門 動物・海洋生物科学講座	教 授	松山 倫也
	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 瀬戸内海区水産研究所 業務推進部	部 長	日向野 純也
	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 増養殖研究所 育種研究センター	センター長	奥澤 公一

農研機構10名、森林機構4名、水研機構2名、大学9名(うち九州大学6名)、その他3名 合計28名

平成29年度後期(平成29年10月1日～平成30年3月31日)  
大分県農林水産試験研究アドバイザー一覧

部門	所属名	職名	氏名
土壌・環境	国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 環境農学部 生産環境科学講座	教授	平舘 俊太郎
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 生産環境研究領域 土壌肥料グループ	グループ長	古賀 伸久
病害虫	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 生産環境研究領域 病害グループ	グループ長	宮坂 篤
	一般社団法人 九州病害虫防除推進協議会	会長	山中 正博
野菜	国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 資源生物科学部門 農業生物科学講座	准教授	尾崎 行生
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 園芸研究領域	園芸研究 領域長	沖村 誠
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 企画部産学連携室	農業技術コミュニ ケーター	杉本 光穂
茶業	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門 茶業研究領域茶育種ユニット(枕崎茶業研究拠点)	上級研究員	吉田 克志
水田農業	国立大学法人 九州大学 大学院農学研究院 資源生物科学部門 農業生産生態学講座 九州大学農学部附属農場	教授	望月 俊宏
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 水田作研究領域 水田栽培グループ	グループ長	中野 洋
	三和酒類株式会社 取締役 統轄部長	取締役	高下 秀春
果樹	国立大学法人 鹿児島大学 かごしまCOCセンター(地域活性化センター)	特任教授	富永 茂人
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター	九州沖縄果樹 研究調整監	根角 博久
	国立大学法人 鳥取大学農学部	教授 農学部長	田村 文男
花き	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 園芸研究領域	上級研究員	今村 仁
	学校法人 東海大学 農学部	教授	田中 孝幸
	宇田花づくり研究所	代表	宇田 明
畜産	国立大学法人 広島大学 大学院生物圏科学研究科	教授 博士(獣医学)	島田 昌之
	国立大学法人 九州大学 大学院農学研究院 農学部附属農場 高原農業実験実習場 家畜生産生態学講座	助教 博士(農学)	高橋 秀之
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 畜産草地研究領域 飼料生産グループ	グループ長 博士(農学)	服部 育男
	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 畜産草地研究領域 肉用牛生産グループ	グループ長 博士(農学)	竹之内 直樹
林業	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター九州育種場	育種課長	倉本 哲嗣
	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所 森林生態系研究グループ	主任研究員	野宮 治人
	国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 環境農学部 サステナブル資源科学講座	准教授	藤本 登留
きのこ	国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 環境農学部 森林環境科学講座	教授	大賀 祥治
	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所 森林微生物管理研究グループ	主任研究員	宮崎 和弘
水産	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 西海区水産研究所 まぐろ増養殖研究センター 種苗量産グループ	主任研究員	森岡 泰三
	国立大学法人 高知大学 海洋生物生産学コース 水族栄養学研究室	准教授	深田 陽久
	国立大学法人 九州大学 大学院農学研究院 生物機能科学部門	准教授	島崎 洋平
	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産大学校 生物生産学科 生物環境学講座 藻場生態系保全研究室	教授	村瀬 昇

農研機構10名、森林機構3名、水研機構2名、大学12名(内九州大学7名)、その他3名 合計30名

### 3. 情報発信機能の強化

#### (1) 研究Now

研究成果等を「研究 Now」と題してホームページに概ね月1回のペースで掲載し、研究内容を分かりやすく紹介した。

vol.	公表日	所属	タイトル
63	平成29年4月17日	水産研究部	予測手法確立！ ～「別府湾シラス」の漁獲量～
64	平成29年5月11日	農業研究部	新開発！ベルトプランター大苗育苗技術
65	平成29年7月3日	畜産研究部	肉質抜群！種雄牛「睦美幸（むつみさち）」誕生！
66	平成29年7月11日	花きグループ	アルストロメリア農家で広がる大麦焼酎粕の利用
67	平成29年8月31日	農業研究部	色んな効果を確認！製鋼スラグを利用した野菜栽培
68	平成29年9月19日	きのこグループ	夏場の副収入として期待！アラゲキクラゲの菌床栽培
69	平成29年10月17日	林業研究部	作業時期の分散が可能に！スギコンテナ苗用穂木の低温貯蔵
70	平成29年11月15日	農業研究部	大分県に適したパブリカ品種選定および仕立て方法の検討
71	平成29年12月18日	水田農業グループ	大豆の早播きと摘芯処理による安定な栽培技術の開発に取り組んでいます！
72	平成30年1月31日	畜産研究部	簡単にラップサイレージの水分測定ができます！
73	平成30年2月1日	浅海・内水面グループ	これまでにない放流効果！キジハタの魅力！
74	平成30年3月16日	果樹グループ	越冬完熟不知火「デコ330」の安定生産に向けて

#### (2) 普及カード

各研究部・グループが実施した研究のうち、生産現場に普及すべき成果（平成28年度年度までに成果が得られたもの）を「普及カード」として生産者及び関係者向けに作成しホームページで情報提供を行った。

No.	所属	普及カードタイトル	試験研究課題名	試験年度	公開	資料	
1	農業研究部	トマトすずかび病菌の薬剤感受性検定結果	夏秋トマトのすずかび病と線虫類に対する防除技術の確立	H28	○		
2		夏秋トマトのすずかび病の防除対策	夏秋トマトのすずかび病と線虫類に対する防除技術の確立	H28	○		
3		トマト台木の線虫抵抗性が打破されている	夏秋トマトのすずかび病と線虫類に対する防除技術の確立	H26～H28	○		
4		トマトのネコブセンチュウ防除におけるホスチアゼート液剤の処理適期	夏秋トマトのすずかび病と線虫類に対する防除技術の確立	H27～H28	○		
5		夏ニラの葉先枯れ抑制技術	ニラの作型改善のための、品質、収量向上技術の確立	H25～H27	○		
6		製鋼スラグ投入量の迅速判定および劣化(炭酸化)判断方法	製鋼スラグを利用した野菜類栽培における多面的効果の検証	H28～H30	○		
7		イチゴ「さがほのか」の定植時期及び遮光の有無が果房と第一次果房の出し時期と果房間葉数に及ぼす影響	栽培情報モニタリングによるイチゴ最適管理技術	H25～H27	○		
8		水田農業グループ	平田地における水稲乾田直播栽培(ヒノヒカリ)の窒素施用法	水稲乾田直播栽培を基軸とした土地利用型作物の超低コスト栽培法の開発	H26～H28	○	
9		水田農業グループ	麦との輪作体系における水稲乾田直播栽培の雑草防除技術	水稲乾田直播栽培を基軸とした土地利用型作物の超低コスト栽培法の開発	H26～H28	○	
10		果樹グループ	ナン流線型仕立に用いる大苗育苗施設「大苗工場」の設置経費削減と省力化、生育向上	ナンの大苗育苗と流線型仕立による早期成圃化技術の確立	H26～H28	○	
11		果樹グループ	ブドウ「シャインマスカット」の食感改善技術	とにかく美味い！特色ある「おおいシャインマスカット」生産技術の確立	H26～H28	○	
12		果樹グループ	新食感カンキツ「大分県研4号」ステップアップのための技術確立	新食感カンキツ「大分県研4号」ステップアップのための技術確立	H26～H28	○	
13		花きグループ	ヤマジノギクの新規栽培システムの育成	露地及び簡易施設による低コスト栽培技術の確立	H25～H27	○	
14	畜産研究部	イネWCS、飼料用米を活用した「豊後・米仕上牛」のブランド力強化と生産性向上	イネWCS、飼料用米を活用した「豊後・米仕上牛」のブランド力強化と生産性向上	H27～H28	○		
15		規格外乾しいたけを利用した高品質な「おおい冠地どり」の作出	規格外乾しいたけを利用した高品質な「冠地どり」の作出	H26～H28	○		
16	林業研究部	低コスト再造林に向けたコンテナ苗の利用	省力造林用コンテナ苗の育苗技術の開発	H26～H28	○		
17		きのこグループ	原木シイタケに発生するシイタケ腐敗病の防除	—	H11～15	○	
18	水産研究部	浅海・内水面グループ	遡上アユを増やすための産卵場造成時期～孵化時期の盛期からの推定～	河川ごとの漁場評価による効果的な天然アユ増殖技術の開発	長期	○	
19	農業研究部【追加】		トマトの軟果を抑制する栽培方法について	「いつでも！大分産トマト」を目指した、省力・最適技術の確立	H26～H28	○	



(3) 刊行物等の発行

センターの取組を刊行物またはホームページにて広報した。

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数	備考
研究Nowの歩み	平成29年4月28日	6	HP掲載のみ	
大分県農林水産研究指導センター要覧	平成29年5月15日	7	1,000	増刷
平成28年度業務年報	平成29年6月26日	67	100	
試験研究成果2016	平成29年9月16日	2	HP掲載のみ	
大分県農林水産研究指導センター研究報告第6号	平成30年2月28日	58	200	
大分県農林水産研究指導センター研究報告第7号	平成30年2月28日	54	200	
研究Nowの歩み(2018年3月版)	平成30年3月16日	8	HP掲載のみ	

(4) 農林水産研究タイムリー情報

一定の成果が得られた報告(普及カードや研究Now等)以外の日常的な取組(トピックス等)を「農林水産研究タイムリー情報」として県庁ホームページに掲載を平成29年8月から開始した。  
 なお、平成29年度の実績は以下のとおりである(計93件発信)。

農業47件(農業研究部20件、水田農業グループ12件、果樹グループ10件、花きグループ5件) 畜産13件(畜産研究部13件) 林業18件(林業研究部14件、きのこグループ4件) 水産15件(水産研究部8件、浅海・内水面グループ7件)
---

(5) 農林水産研究指導センター研究状況報告会及び知事報告

試験研究活動や成果を知事・副知事及び県庁職員へ広く情報を提供するために実施した。

年月日	場所	課題	主な聴講者
平成29年 10月4日	県庁舎本館 81会議室	①とにかく美味しい!特色ある「おおいたシャインマスカット」の生産技術の確立(食感改善技術、長期貯蔵技術) (果樹グループ ナシ・ブドウチーム 主任研究員 佐藤洋平) ②輪ギク産地の品質向上を図る ～系統選抜育種への取り組み～ (花きグループ 花きチーム 主幹研究員 甲斐克明) ③枠組壁工法建築物への県産材利用に向けた研究 (林業研究部 木材チーム 主幹研究員 山本幸雄) ④かぼすプリのおいしさの科学的根拠 (水産研究部 養殖環境チーム 主幹研究員(TL) 木藪仁和)	副知事、 部長、審議監、 関係課・室長他 (計57名)
平成29年 12月20日	県庁舎本館 91会議室	①根深ネギの9～11月出荷安定化に向けた大苗利用技術の開発について (農業研究部 葉根菜類・茶業チーム 主任研究員 大坪亮介) ②生育制御と雑草防除による大豆の高位安定生産技術の確立 ～大豆作難防除雑草の発生実態と対策～ (水田農業グループ 水田農業チーム 研究員 河野礼紀) ③イネWCS、飼料用米を活用した「豊後・米仕上牛」のブランド力強化と生産性向上 (畜産研究部 肉用牛繁殖・酪農チーム 主任研究員 矢崎竜) ④クヌギを利用したアラゲキクラゲ菌床栽培技術の確立 (きのこグループ きのこチーム 主幹研究員 石原宏基) ⑤高級魚キジハタの栽培漁業に関する研究 ～姫島をモデル海域として～ (浅海・内水面グループ 浅海チーム 研究員 山本宗一郎)	副知事、 部長、審議監、 関係課・室長他 (計58名)
平成30年 1月25日	知事室 第一応接室	①根深ネギの9～11月出荷安定化に向けた大苗利用技術の開発について (農業研究部 葉根菜類・茶業チーム 主任研究員 大坪亮介) ※上記の他に、農業普及関係の2課題が報告された。	知事、 部長、審議監、 センター長、 所属長、 関係課・室長他

#### 4. 試験研究機関の連携推進

県内の試験研究機関が総合的かつ有機的な連携を図るため、衛生環境研究センターと産業科学技術センターとで大分県試験研究機関連携会議を平成22年度に設置し、研究員の交流、意見・情報交換の推進、試験研究機器の相互有効活用の推進、研究の連携推進等を行っている。

なお、平成29年度の幹事機関は農林水産研究指導センターであり、下記のとおり3センターの連携を深めた（平成30年度の幹事機関は衛生環境研究センター）。

開催日	場所	内容
平成29年5月30日	産業科学技術センター	本年度の活動体制・内容確認の打合せ会議
平成29年7月12日	農林水産研究指導センター (本部)	平成29年度第1回大分県試験研究機関連携会議 (平成28年度事業報告、平成29年度事業計画)
平成29年12月5日	産業科学技術センター	量子科学技術研究開発機構セミナー
平成30年2月26日	農林水産研究指導センター (水産研究部)	交流・見学会（各機関の業務概要の紹介、施設見学） 研究連携ニーズ・シーズマッチング会議
平成30年3月5日	産業科学技術センター	共同研修会・講演会「食品の安全性を考える」

#### 5. 研究員の資質向上

研究課題解決のための高度な技術の習得及び資質向上のため研究員の研修を実施した。

##### (1) 短期派遣研修

所 属	役職	氏名	派遣先	派遣地	研修期間	研修課題
農業研究部	研究員	山村 駿太郎	(国研)農業・食品産業技術研究機構中央農業研究センター	茨城県	平成29年 7月18日 ～7月21日 (4日間)	アブラムシ寄生蜂、二次寄生蜂の同定技術の研修
農業研究部	研究員	松本 翔太	国立大学法人佐賀大学農学部	佐賀県	平成29年 9月11日 ～9月15日 (5日間)	菌類、細菌、ウイルスを原因とする各種植物病害の診断技術の習得
水田農業グループ	研究員	河野 礼紀	(国研)農業・食品産業技術研究機構	東京都	平成29年 10月2日 ～10月6日 (5日間)	農業生産における技術と経営の評価方法
畜産研究部	研究員	後藤 雅昭	国立大学法人広島大学大学院生物圏科学研究科	広島県	平成29年 7月18日 ～8月10日 (24日間)	雌雄産み分けのための精子分離技術及び関連手法の習得
畜産研究部	研究員	久々宮 萌香	(独)家畜改良センター	福島県	平成29年 10月2日 ～10月13日 (12日間)	黒毛和種体外受精卵生産技術の確立及び乳牛の受胎環境改善の検討
畜産研究部	研究員	藤田 敦己	(公社)畜産技術協会附属動物遺伝研究所	福島県	平成29年 10月10日 ～10月20日 (11日間)	黒毛和種におけるゲノム選抜手法の開発と育種への応用
林業研究部	研究員	佐藤 太一郎	(国研)森林整備・研究機構森林総合研究所林木育種センター九州育種場	熊本県	平成29年 9月4日 ～9月15日 (12日間)	林木育種の基礎、調査方法、DNA分析の基礎・選定方法、その他林木育種に関して必要な事項
水産研究部	研究員	甲斐 桑梓	(公社)日本水産資源保護協会 国立大学法人東京海洋大学 目黒寄生虫館	東京都	平成29年 7月18日 ～7月28日 (11日間)	養殖衛生管理技術者として必要な知識、技術の習得
浅海・内水面グループ	研究員	吉井 啓亮	(公社)日本水産資源保護協会	東京都	平成29年 6月20日 ～6月30日 (11日間)	養殖衛生管理技術者として必要な知識、技術の習得

##### (2) 長期派遣研修

なし

(3) 新規採用研究員研修

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
H29.4.19	市町村会館 6階会議室	17名 (うち新採研究員9名)	講演①「大分県農林水産業の現状と研究の役割について」 講師 都留嘉治 センター長  講演②「農林水産研究指導センターの概要について」 講師 清末義信 研究企画監  講演③「研究員としての心構え」 講師 林浩昭 研究指導顧問  質疑・意見交換

(4) 現場体験研修

所属	役職	氏名	派遣先	派遣地	研修期間	研修内容
農業研究部	研究員	山村 駿太郎	生産組合 農家	豊後大野市	6月26日～30日(5日間) 7月3日～7日(5日間)	茶摘菜作業 水耕小ネギの仮植、定植、収穫 ピーマンの収穫、調整、出荷
農業研究部	研究員	櫛野 智也	生産組合 農家	豊後大野市	6月26日～30日(5日間) 7月3日～7日(5日間)	茶摘菜作業 水耕小ネギの仮植、定植、収穫 ピーマンの収穫、調整、出荷
水田農業 グループ	研究員	山本 真梨子	農事組合法人	宇佐市	5月24日、6月22日、10月20日、12月15日 (4日間)	イネ播種作業、田植え作業、 エダマメの出荷、収穫、脱莢作業、 イネの収穫作業、タマネギの定植作業
花きグループ	研究員	米澤 円穂	生産組合 農家	杵築市	7月3日～5日(3日間) 10月3日～5日(3日間)	ホオズキの選別・調整・出荷、 ヤマジノギクの収穫・調整・出荷
畜産研究部	研究員	本田 香朱美	酪農家	竹田市	6月26日～30日(5日間)	牛の飲み水の補給、飼料給与、哺乳作業、 糞尿処理
畜産研究部	研究員	小倉 初音	酪農家	竹田市	7月3日～7日(5日間)	搾乳補助、牛舎・餌槽清掃、仔牛への代用 乳給与、削蹄補助、人工授精見学、直腸検 査、トラクター等操縦、培養業務見学
林業研究部	研究員	姫野 早和	苗木生産者	日田市	7月28日、8月4日、9月1日、 9月19日、9月26日、10月13日、 11月9日、11月17日、12月8日、 12月18日 (10日間)	マツノザイセンチュウ接種作業・苗畑除草作 業、ポット苗ネット詰め(クロマツ)、並び替え 作業、ミニ穂密閉さし試験用さし床作り(ス ギ)、採穂・剪定・挿し穂作り等(スギ)、ポッ ト苗ネット詰め、種処理(広葉樹)、等

(5) 若手研究員研修

若手研究員に対して、本県の農林水産業を取り巻く情勢、他研究部・グループでの研究内容及び研究に対する心構え等について理解を深めるとともに、先輩研究員からの講演を通じ、若手研究員の意欲を高め、幅広い観点から試験研究遂行能力の向上を図るため研修を行った。

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
H29.8.9	センター別館 第3会議室	概ね35歳以下の 若手研究員等 46名	趣旨説明「基礎研究と応用研究～県としてのあるべき研究～」 講師 都留嘉治(センター長)  講演①「高等学校における研究活動の現状について」 講師 大分上野丘高校化学部顧問 高橋慎一郎氏  講演②「酸濃度の簡易測定方法の開発」 講師 大分上野丘高校化学部顧問 高橋慎一郎氏  講演③「水酸化鉄(Ⅲ)コロイドの研究」 講師 大分上野丘高校化学部員2年 牧功大氏  講演④「大豆作難防除雑草カロライナツユクサの発生実態と対策」 講師 水田農業グループ水田農業チーム 河野礼紀 研究員  講演⑤「酪農生産基盤強化に向けた黒毛和種体外受精卵生産技術の確立」 講師 畜産研究部肉用牛繁殖・酪農チーム 久々宮萌果 研究員

(6) 中堅研究員研修

中堅研究員を対象に、民間企業や関係機関の方との意見交換を実施し、視野を広げ、試験研究企画及び自己開発能力の向上を目的に研修を行った。

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
H30.1.23	センター別館 第3会議室	概ね35歳以上の 中堅研究員等 33名	テーマ「最新の農林水産施策の動向と今後の海外輸出の展開方向」(仮題)  講演①:「農林水産施策の動向について」 講師 農林水産企画課 構造改革企画監 石井聖治氏  講演②「今後の海外輸出の展開方向」 講師 おおいたブランド推進課 海外流通班(総括)課長補佐 和田隆志氏

(7) チームリーダー研修

各研究部、グループのチームリーダー及び企画指導担当(総括)を対象に研究の企画・立案能力の向上を図り、リーダーとしての自覚を高めることを目的に研修を実施した。

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
H29.7.26	県庁舎本館 91会議室	チームリーダー及び 企画指導担当(総括)等 34名	講演 「農林水産試験研究に対する記者の視点～読まれる記事を書くために～」 講師 大分合同新聞社編集局報道部 部長 田崎啓三氏

(8) マーケティング研修

国内外の農業の動向など幅広い情報とマーケット動向を的確に把握し、農林水産業をめぐる環境等の変化及び市場ニーズをしっかりとつかみ、将来を見据えた新たな発想を生み出す研究員の育成を図ることを目的に研修を実施した。

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
H29.9.26	大分県漁協佐賀関 支店荷さばき所 大分市佐賀関市民 センター	研究員等 20名	見学 説明「大分県漁業協同組合のブランド魚(関あじ・関さば)鮮度・衛生管理を強化した荷さばき所の出荷体制及びブランド保護・育成の方法の取組について」 講師 大分県漁業協同組合佐賀関支店 支店長 坂井伊智郎氏  講義 講演「関あじ・関さば衛生管理・販売の取組について」 講師 中部振興局農山漁村振興部水産班 主任 前田真梨子氏

(9) プレゼンテーション研修

なし

(10) 数理統計研修

試験研究を行っていく上で、基礎的かつ重要な数理統計について、農林水産試験研究における基礎的な手法の習得とあわせて、現場において直面すると思われる数理統計処理の演習を行うため研修を実施した。

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
H29.12.6～ 12.8	県庁舎新館 OAプラザ	研究員等20名	「統計学概論」 講師 (国研)農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター 三中 信宏 ユニット長

(11) 知的財産研修

知的財産は新たな付加価値を創出し、ブランド化や産地間競争での優位性を高めるとともに、共同研究や競争的研究資金を獲得する上で有効なものである。

平成29年度は、下記研修に研究員等を派遣した。

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
H29.9.20	ホルトホール大分	研究員等 5名	特許庁主催の知的財産権制度説明会(初心者向け)を活用し、知的財産権に関する知見を深めた。

(12) はやしセミナー

農林水産研究指導センターの研究指導顧問である林浩昭氏がコーディネーターとなり、農業・畜産・林業・水産が抱える共通課題の解決や共通テーマの情報交換を実施し、研究員の資質向上を目的とした「はやしセミナー」を開催した。

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
H29.8.9	センター別館 第3会議室	概ね35歳以下の 若手研究員等 46名	(若手研究員研修と併催)
H29.9.11	水田農業グループ	研究員等11名	講演①「農林水産業の現場でおこっている問題を解決するために最新の研究動向に注目する」 講師 農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林浩昭氏  講演②「大豆(フクユタカ)における早播き・摘芯による安定栽培法」 講師 農林水産研究指導センター農業研究部水田農業グループ 研究員 柿原千代文氏
H29.10.31	花きグループ	研究員等 47名	講演①「福岡県農林業総合試験場の概要と取り組み」 講師 福岡県農林業試験場 場長 栗村光男氏  講演②「試験研究成果を発信する」 講師 農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林浩昭氏
H30.12.14	センター別館 第3会議室	研究員等51名	講演①「博士号取得を通して感じたこと」 講師 農林水産研究指導センター畜産研究部 主任研究員 鶴岡克彦氏  講演②「きのこの病害に関する研究」 講師 農林水産研究指導センター林業研究部きのこグループ 主幹研究員 有馬忍氏  講演③「「ひらめく」とき」 講師 農林水産研究指導センター 研究指導顧問 林浩昭氏

## 6. 知的財産権の取得状況

平成29年度で新たに登録された知的財産権は、特許が1件、品種が1件であった。なお、平成29年度末までに登録されている特許及び品種は以下のとおりである。

### (1) 特許登録

状況	登録		発明の名称	持分割合	
	登録番号	登録年月日			
取得	登録	3938786	2007/4/6	分娩予知通報システム	50%
	登録	4023721	2007/10/12	ゴマダラカミキリの性刺激剤	30%
	登録	4453831	2010/2/12	ロールベール用草架	90%
	登録	4774484	2011/7/8	魚病防除剤及びその製造方法ならびに飼料	40%
	登録	4783883	2011/7/22	受胎率および産子数向上凍結精子およびその製法	50%
	登録	4905649	2012/1/20	魚用ワクチン、その製造方法、および魚類感染症の予防方法	1/3
	登録	4974002	2012/4/20	灌水施肥装置	30%
	登録	4974003	2012/4/20	灌水施肥装置の濾過装置洗浄方法	50%
	登録	5176034	2013/1/18	ウシ個体における枝肉重量及び体高を増加させる遺伝的能力を評価する遺伝子マーカー及びそれを用いた枝肉重量及び体高に関する遺伝的能力の評価方法	10%
	登録	5281775	2013/5/31	ウシ脂肪交雑形成に関わる一塩基多型およびその利用	20%
	登録	5281920	2013/5/31	ウシ脂肪交雑形成に関わる一塩基多型およびその利用	20%
	登録	5422848	2013/12/6	受胎率および産子数向上凍結精子およびその製法	50%
	登録(日本) (国際出願)	5733829	2015/4/24	精子用希釈液、及び、これを用いた人工授精方法	50%
	登録	5818111	2015/10/9	貝類毒化軽減装置および貝類毒化軽減方法	100%
	登録	5904369	2016/3/25	精子保存液、精子保存方法及び人工授精方法	50%
	登録	5967487	2016/7/15	貝類の育成装置	1/3
	登録	6041238	2016/11/18	ブリ細菌性溶血性黄疸の病原体抗原ポリペプチド、及びこれを含む水産用ワクチン	20%
	登録	6099048	2017/3/3	茶の施肥方法	50%
	登録(H29新規)	6291669	2018/2/23	転倒ます型流量計測装置	10%

### (2) 品種登録

状況	登録		農産物の種類	品種名	持分割合	
	登録番号	登録年月日				
取得	登録	15413	2007/3/23	なし	豊里	100%
	登録	17734	2009/3/6	かんきつ	大分果研4号	100%
	登録	20806	2011/5/24	トルコギキョウ	チェリービー	100%
	登録	24322	2015/5/20	トルコギキョウ	チェリービー2号	100%
	登録	24323	2015/5/20	トルコギキョウ	チェリービー3号	100%
	登録	24345	2015/6/19	ヤマジノギク	TOYOロマン2号	100%
	登録	24346	2015/6/19	ヤマジノギク	TOYOロマン3号	100%
	登録	25606	2017/2/8	イチゴ	大分5号	100%
	登録(H29新規)	26579	2018/2/9	大麦	トヨノホシ	70%

## 7. 九州大学との連携

県内には農林水産系の4年制大学がなく、研究交流が容易に進み難い状況にあるため、平成19年1月29日に九州大学大学院農学研究院と共同研究や人材養成について連携する基本協定を締結し、共同研究等で幅の広い研究を行うための連携を進めた。なお平成24年1月28日を以て5年間の有効期間が満了したが、引き続き5年間の協定の延長を行っている。

なお、平成29年度は農業、畜産、林業、水産の各分野で共同研究・連携に向けた取組を行うとともに、九州大学大学院農学研究院と大分県農林水産部との連携協議会を1回開催した。

(1) 連携協議会関連行事

開催月日	場所	行事名	内 容	参 集 者
H29. 4. 24	九州大学 農学部附属農場 高原農業 実験実習場 (竹田市久住)	九州大学大学院農学研究院と大分県農林水産部との連携打合せ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度の連携協議会の開催時期・場所について</li> <li>・平成29年度の連携協議会の開催内容について</li> </ul>	九州大学農学部 後藤准教授、高橋助教 センター 研究指導顧問 他2名
H29. 6. 29	九州大学	九州大学大学院農学研究院と大分県農林水産部との連携協議会	<p>全体協議</p> <p>(1) 「試験研究課題の募集から決定について」 大分県農林水産研究指導センター 研究企画監 清末義信氏</p> <p>(2) 「大分県農林水産研究指導センターのこれからの取組について」 (各所属出席者から事例発表、連携の可能性を探る)</p> <p>基調講演 「農産物・食品のブランド化に対する社会科学からのアプローチ」 九州大学大学院農学研究院 准教授 森高正博氏</p> <p>話題提供</p> <p>(1) 「黒毛和種仔牛における麦焼酎粕濃縮液および稲発酵粗飼料が成長に及ぼす影響」 大分県農林水産研究指導センター畜産研究部 主任研究員 鶴岡克彦氏</p> <p>(2) 「糸島市における土壌調査の取り組みと、化学平衡モデルを活用した土壌リン酸形態解析」 九州大学大学院農学研究院 助教 森裕樹氏</p> <p>(3) 「農林水産省の政策動向と競争的資金等に関する動きについて」 九州大学学術研究・産学官連携本部 研究推進主幹/教授 篠原隆氏</p>	九州大学 農学研究院長 他 センター センター長 他 (計 45名)
H30. 3. 12	九州大学	九州大学大学院農学研究院と大分県農林水産部との連携打合せ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九州大学と農林水産研究指導センターの各分野ごと（農業、畜産、林業、水産）の連携状況の報告</li> <li>・次年度に向けた取組の計画と連携のあり方についての意見交換</li> </ul>	九州大学 農学研究院長 他4名 センター センター長 他1名

(2) 九州大学とのその他連携状況（平成29年度）

	農業	畜産	林業	水産
外部資金による研究	1課題(農研部)			
共同研究(外部資金以外)	1課題(水田G)		1課題(きのこG)	
アドバイザーとの連携	2課題(水田G)	3課題(畜研部)	2課題(林研部) 2課題(きのこG)	1課題(水研部)
研究室等訪問・来訪(研修、分析等)		5回(畜研部)	1回(林研部) 2回(きのこG)	

8. 受賞、学位取得の状況

(1) 受賞者一覧

畜産研究部

受賞者	受賞名	表彰授与主体	受賞年月日	受賞の内容
主幹研究員 井上 一之	平成28年度 畜産研究 功労者表彰	全国畜産関係 場所長会	平成29年6月16日	永年畜産の研究に従事して顕著な業績をあげ、畜産の発展に貢献した

(2) 学位取得者一覧

平成29年度に学位（博士）を取得した研究員はいなかった。

平成30年3月末時点での当センター在籍職員の学位（博士）取得者は8名である。

センター所属：取得8名（内訳 果樹1、畜産2、林業1、きのこ2、水産2）

センター以外の所属：取得7名

9. 主要な行事・会議等

(1) 主な行事・会議等一覧表

月 日	行事名等	場 所
平成29年7月19日	農林水産部試験研究推進本部・企画評価合同会議（内部評価）	土地改良会館
平成29年8月23日	農林水産部試験研究外部評価委員会	土地改良会館
平成29年10月7日～8日	農林水産祭（水産部門）への水産研究展示	亀川漁港
平成29年10月14日～15日	農林水産祭（農・林業部門）への農業・畜産・林業研究等の展示	別府公園

(2) 所属長会議及び企画調整会議の開催

各試験研究機関との連絡調整を図るため、本部と各研究部長・グループ長とで構成する所属長会議及び各研究部、グループの企画指導担当（総括）等で構成する企画調整会議を開催した。

なお、所属長会議は3回、企画調整会議は4回開催した。

10. 各所属の業務・試験研究

所 属 名	主 な 業 務 ・ 研 究 内 容
農林水産研究指導センター (本部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究課題の決定調整・進行管理</li> <li>○共同研究の調整・知的財産取得・活用</li> <li>○課題評価・成果公表</li> <li>○研究員の資質向上</li> <li>○産学官交流・連携促進</li> </ul>
農業研究部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○土壌管理・施肥改善技術、有機栽培技術</li> <li>○病害虫発生予察・防除技術、環境保全型農業技術</li> <li>○イチゴの品種育成・選定、栽培技術、バイオ技術</li> <li>○ネギ・ニラ等の品種選定、栽培技術</li> <li>○トマト・ピーマン等の品種選定、栽培技術</li> <li>○茶の品種選定、栽培・加工技術</li> </ul>
水田農業グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○稲・麦・大豆の品種の育成・選定</li> <li>○稲・麦・大豆の栽培技術、優良種子生産</li> </ul>
果樹グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○温州ミカンの優良系統の選抜、栽培技術</li> <li>○カボス・中晩柑等の育種、優良系統の選抜、栽培技術</li> <li>○ナシ・ブドウ等の育種、優良系統の選抜、栽培技術</li> </ul>
花きグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○花き類の育種、優良系統の選抜、栽培技術</li> </ul>
畜産研究部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○肉用牛の改良増殖、種雄牛造成並びに精液供給</li> <li>○肉用牛の飼養技術及び繁殖技術</li> <li>○乳用牛の飼養技術及び繁殖技術</li> <li>○牧草及び飼料作物の系統選抜、栽培管理・貯蔵技術、自給飼料成分分析並びに畜産環境対策</li> <li>○豚の育種、飼養管理技術並びに精液供給</li> <li>○家禽の育種並びに飼養管理技術</li> </ul>
林業研究部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○育種・育林技術の開発に関する試験研究</li> <li>○環境を守る森林整備に関する試験研究</li> <li>○県産材の需要拡大に関する試験研究</li> </ul>
きのこグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○きのこの育種、栽培技術、病害虫防除技術</li> <li>○きのこ類の生理、分類、同定に関する研究</li> </ul>
水産研究部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○種苗生産と育種、放流効果技術、水産資源管理、漁場造成技術</li> <li>○養殖技術の開発、魚介類の疾病対策、漁場環境保全、水産物の品質向上技術</li> </ul>
浅海・内水面グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○別府湾以北の漁場環境保全、海藻類の増養殖技術、魚介類の種苗生産、放流技術及び資源管理</li> <li>○淡水魚の増養殖技術、資源管理、環境及び生物の保全、魚病診断・対策技術</li> </ul>



## 11. 予算概要

平成29年度当初予算（経常的経費[人件費を除く]）

（単位：千円）

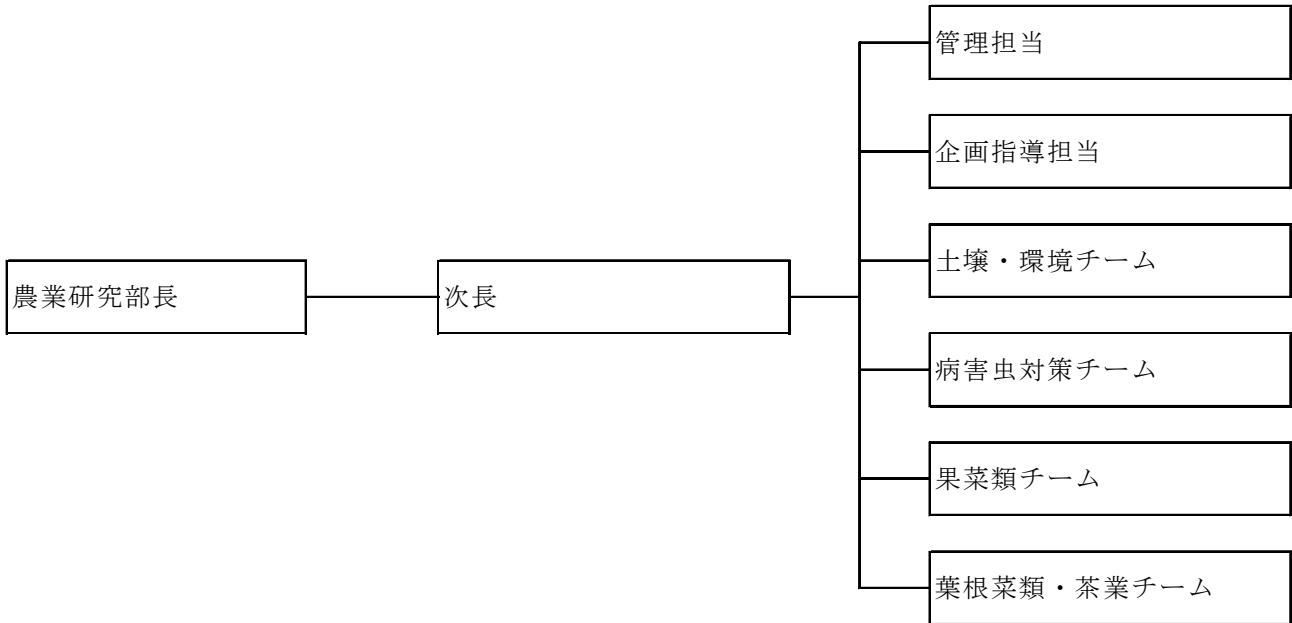
区 分	管理運営費 +管理予算	施設整備費	試験研究費	計
試験研究調整費 （農林水産研究指導センター本部）			17,004	17,004
農林水産研究指導センター施設整備事業		75,449		75,449
農業研究部	56,873		49,703	106,576
水田農業グループ	20,988		13,974	34,962
果樹グループ	13,012		26,366	39,378
花きグループ	21,746		14,418	36,164
畜産研究部	45,095		159,189	204,284
林業研究部	18,275		9,753	28,028
きのこグループ			14,256	14,256
水産研究部	48,119		34,167	82,286
浅海・内水面グループ	24,425		28,119	52,544
合計（農林水産研究指導センター）	248,533	75,449	366,949	690,931

## II 各研究部・グループの概要

### II-1 農業研究部

#### 1. 組織および職員配置状況

##### (1) 組織



##### (2) 職員配置状況

組織	職種	職員		技師	労務 技師	業務 技師	事務 補佐	計	備考
		事務	技術						
部	長		1					1	
次	長	1						1	兼センター管理調整監 広域普及指導員3名
管	理	5						5	
企	画		7					7	
土	壌		7		1			8	
病	害		9			1		10	
果	菜		8	2		1		11	
葉	根		6		1	1		8	
計		6	38	2	2	3	0	51	

### (3) 業務

#### 主な業務

大分県農林水産試験研究基本指針に基づき、「The・おおいた」ブランドを確立するための産地づくりを技術面から支援する。研究課題の設定にあたり、県が推進する園芸戦略品目を中心に生産者や消費者・実需者のニーズを反映し生産現場に直結する栽培法や新品種を開発・改良・実証する。地域未利用資源の新たな活用方法や品質、収量の向上に加えて、省力化技術など課題を解決するための研究を行う。

#### 企画指導担当

- ①生産者に対する研修及び現地指導
- ②農業経営の調査・研究
- ③試験研究の企画調整、進行管理
- ④研究成果のとりまとめ、研究員の育成

#### 土壌・環境チーム

- ①農産物の安全安心に関する研究
- ②環境に優しい農業生産技術
- ③未利用資源の農業活用技術に関すること
- ④農産物の栄養・機能性成分の調査、分析に関すること
- ⑤肥料取締り分析と農業試験検査事務に係る分析

#### 病虫害対策チーム

- ①安全性に配慮した農産物の生産技術の組み立て
- ②化学農薬の削減による安全・安心な防除技術の開発、実証
- ③難防除病虫害、農薬耐性菌・抵抗性害虫対策の組み立て
- ④病虫害発生予察に基づく、予防的減農薬栽培技術の組み立て、実証
- ⑤マイナー作物への適用農薬の登録推進

#### 果菜類チーム

- ①トマトの周年安定生産技術の研究
- ②夏秋ピーマンの省力安定生産の研究
- ③イチゴ新品種の育成
- ④イチゴ経営体の規模拡大を可能にする新生産方式の開発
- ⑤パプリカの品質・収量向上のための現地実証

#### 葉根菜類・茶業チーム

- ①根深ネギ、ニラ、カンショ、キャベツ等の栽培技術に関する研究
- ②カンショの品種選定、ウイルスフリー苗の供給
- ③茶の栽培および病虫害に関する研究
- ④茶の品種選定

2. 試験研究課題  
農業研究部（1/4）

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
<b>I 大課題、 1 中課題 ・ 研究項目</b>				
※「・研究項目」以下の区分：1）、（1）、①				
<b>I 構造改革を加速し、もうかる農林水産業を実現するための研究開発</b>				
<b>1 構造改革の更なる加速のための技術開発</b>				
・ いちごの大規模経営体を育成・支援するための技術開発				
1) イチゴ大規模経営体を支援・育成する生産システムの確立	果菜類 チーム	広域普 及指導 員、各 振興局	H28～31	委託、 県単
(1) 大規模経営体における安定出荷のための作型開発				
(2) 省力育苗技術の開発				
(3) 「大分6号」の生産安定技術の確立				
・ 環境制御技術によるいちごの収量向上				
・ 施設葉菜類のハウス内環境制御技術の確立				
1) 新技術を核とした施設葉菜類の生産安定技術の確立	葉根菜 類・茶業 チーム	中部振興局、 南部振興局	H28～30	県単
(1) 冬ニラにおけるハウス内環境制御技術の確立				
・ 革新的な省力栽培技術の開発				
1) 新技術を核とした施設葉菜類の生産安定技術の確立	葉根菜 類・茶業 チーム	-	H28～30	県単
(1) ベルトプランター利用技術の確立				
・ 市場動向に対応した輸出用かんしょ生産技術の確立				
1) 市場動向を見据えた露地野菜生産安定技術の確立	葉根菜 類・茶業 チーム	中部振興局、 豊肥振興局、 農業大学校	H28～30	県単
(1) 輸出向け小イモ生産技術の確立				
・ トマトの低コスト養液栽培システムの開発				
・ 農産物の栄養分・機能性成分の数値化				
1) 夏秋野菜の栄養・機能性成分の数値化	土壌・ 環境 チーム	豊肥振興 局、西部 振興局、 園芸振興 室	H29～31	県単
(1) ピーマンの栄養・機能性成分の数値化				
(2) トマトの栄養・機能性成分の数値化				
・ 高付加価値な内容成分を有する輸出用農産物技術の開発				
<b>2 ブランド化のための技術開発</b>				
・ いちごの県オリジナル品種の品種登録と普及				
1) 県間連携によるイチゴ新品種の育成	果菜類 チーム	山口県、鳥取 県、島根県、 広島県、岡山 県、長崎県、 九州農研セ	H28～30	県単
第2期 目的とする特徴を持つ有望系統の選抜				
(1) 県間連携による品種育成と栽培技術の確立				
(2) 育種効率化のための交配、選抜方法の確立				
・ いちごの県オリジナル品種の育成				
・ トマト新品種の選定				
1) 「赤採りトマト」の周年供給体制の確立	果菜類 チーム	-	H29～31	県単
(1) 品質変動要因の解明と良食味栽培技術の確立				
・ 糖度判定技術の迅速化				
・ 農産物の機能性成分評価に関する研究				
・ 新需要に対応した品種選抜と加工技術の開発				
・ 地域特性に即した品種選定と栽培技術確立				
<b>3 マーケットインの商品（もの）づくりを加速のための技術開発</b>				
・ こねぎの冬期増収に向けた栽培技術の開発				
・ 調製機械の効率化のための分析・改良提案				
・ 市場動向に対応した白ねぎの夏秋期安定出荷技術の確立				
1) 根深ネギの夏秋期出荷量不足打開に向けた安定生産技術の確立	葉根菜 類・茶業 チーム	西部振興局、 北部振興局	H27～29	県単
(1) 「スーパー大苗」による夏越し作型安定化技術				
・ ドリンク用茶の安定収量確保のため二番茶の収穫適期判定技術の開発				
1) ドリンク茶栽培における収量・品質向上のための総合的管理技術の確立	葉根菜 類・茶業 チーム	なし	H28～30	県単
(1) 二番茶摘採適期予測技術の確立				
(2) 更新時期の検討				
(3) 省力施肥技術の確立				
・ 白ねぎの土壌病害の防除技術の確立				
1) 根深ネギの夏秋期出荷量不足打開に向けた安定生産技術の確立	病害虫 対策 チーム	北部振 興局	H27～29	県単
(1) 萎凋病および白絹病の防除技術				
(2) 有効な薬剤の探索				
(3) 耕種的な防除対策の確立				
(4) 実証試験				

農業研究部 (2/4)

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
<b>I 大課題、 1 中課題 ・ 研究項目</b>				
※「・研究項目」以下の区分：1)、(1)、①				
・ 夏秋トマトのすずかび病及び線虫類の防除対策			H29該当無し	
・ 農産物の安全安心に関する研究 (薬剤抵抗性害虫の天敵利用技術)				
1) 稲こうじ病、いもち病に対する新たな防除体系の構築	病害虫 対策 チーム	豊肥振 興局	H29~31	県単
(1) 稲こうじ病対策				
(2) いもち病対策				
2) ネオニコチノイド系薬剤抵抗性ワタアブラムシ既発生地における発生実態の解明と生物的防除を核とした薬剤抵抗性管理技術	病害虫 対策 チーム	農研機構果樹 研、農研機構 中央農研、日 本曹達 (株)、宮崎 県、和歌山 県、豊肥振興 局、中部振興 局	H26~30	国庫 (委託プロ)
(1) 大分県におけるネオニコチノイド剤抵抗性ワタアブラムシの発生実態				
(2) ネオニコチノイド剤抵抗性ワタアブラムシの寄主範囲の解明				
(3) 生物的防除資材による防除体系の検討 (天敵資材)				
(4) 生物防除資材による防除体系の検討 (糸状菌製剤)				
(5) 有効なトラップ資材の検討				
3) 次世代バンカー資材キットによるアブラムシ類基盤的防除技術の実証・普及	病害虫 対策 チーム	農研機構中央 農研、アグリ 総研(株)、 福岡県農林 試、北部振興 局、豊肥振興 局	H28~30	国庫 (農食事業)
(1) コレマンアブラバチとナケルクロアブラバチ混合製剤と次世代バンカー法による防除効果の検討				
・ シソモザイク病及びさび症の防除体系の確立				
1) シソサビダニが引き起こすオオバのモザイク病およびさび症の防除体系確立	病害虫 対策 チーム	法政大学、高 知県、愛知 県、農研機 構、中部振興 局 他	H27~29	国庫 (農食事業)
(1) 農業による防除技術の確立				
(2) 大分県における発生実態調査及び防除マニュアルの実証				
・ 茶の高品質省力栽培・加工技術の開発			H29該当無し	
・ 新資材による低コスト施肥技術の開発				
1) 亜リン酸肥料を用いた夏秋ピーマン安定生産技術の確立	土壌・ 環境 チーム	-	H28~30	県単
(1) 亜リン酸が及ぼす影響解明				
(2) 施肥基準の確立				
・ IPM管理技術を活用した防除体系の確立			H29該当無し	
・ 有機農業の支援			H29該当無し	
<b>4 力強い担い手を育成するための技術開発</b>				
・ 加工・業務用野菜栽培技術の確立				
1) 市場動向を見据えた露地野菜生産安定技術の確立	業根菜 類・茶業 チーム	北部振興局、 中部振興局	H28~30	県単
(1) 業務用加工キャベツの周年供給体制の確立				
・ 果菜類の安定生産技術の開発				
1) 「赤採りトマト」の周年供給体制の確立	果菜類 チーム	豊肥振興局	H29~31	県単
(1) 品質変動要因の解明と良食味栽培技術の確立				
(2) 周年多収穫技術の確立				
2) 作業管理システム及び生育予測を核とした大規模施設園芸発展スキームの構築	果菜類 チーム	農研機構野菜 花き研究部 門、農研機構 中央農業研究 セ、北海道、 宮崎県、地域 農業振興課、 各振興局、タ カヒコアグロ ビジネス、ベ ストクラブ	H28~31	国庫 (農食事業)
(1) 優良品種の選定				
(2) 仕立て法の検討				
3) 高単収を実現する環境計測技術の確立、イチゴ大規模経営体を支援・育成する生産システムの確立	果菜類 チーム	九大、長崎 県、佐賀県、 キヤノンマー ケティング ジャパン、キ ヤノンITソ リューション ズ、産科技 セ、赤野農 園、アクトい ちごファー ム、豊潤、中 原農場	H28~31	国庫 (農食事業)
(1) 大規模経営体における安定出荷のための作型開発				

農業研究部 (3 / 4)

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
<b>I 大課題、 1 中課題 ・ 研究項目</b>				
※「・研究項目」以下の区分：1)、(1)、①				
・ 夏秋ピーマンの省力・安定生産技術の開発				
1) 夏秋ピーマン産地の時代を担う省力・安定生産技術の確立				
(1) 栽培および出荷調整作業省力化技術の確立	果菜類 チーム	-	H27~29	県単
(2) 夏期の高温対策技術の確立	果菜類 チーム	-	H27~29	県単
・ 低コスト耐候型施設の開発			H29該当無し	
・ 養液栽培における生産安定技術の開発			H29該当無し	
・ 大規模茶園における安定多収穫栽培と品質安定技術（効率的施肥）の開発				
1) 茶試験圃場の育成				
(1) 栄養系適応性試験	葉根菜 類・茶業 チーム	農研機 構 果茶 研、病 害虫対 策チー ム 他	H28~30	受託、 県単
(2) 育成系統の地域適応性試験・短期被覆適性試験				
(3) チャの主要病害虫防除対策試験				
・ 高品質・安定生産・省力化のための茶園管理技術の開発			H29該当無し	
<b>5 地域資源の活用と環境対策のための技術開発</b>				
・ 環境に優しく地域資源を活用した農業生産技術の開発				
1) 地域資源「大麦焼酎粕」活用技術の確立 ～普通作物・野菜における焼酎粕濃縮液の肥料成分利用技術の開発～	土壌・ 環境 チーム	水田農 業グ ループ、北 部振興 局	H27~29	県単
(1) 濃縮液特性解明				
(2) 環境に及ぼす影響解明				
(3) 現地実証試験				
2) 製鋼スラグを利用した野菜類栽培における多面的効果の検証	土壌・ 環境 チーム	病害虫 対策 チーム	H28~30	県単
(1) 病害発生抑制効果の確認				
(2) 品質向上効果の確認				
(3) 環境負荷への影響検討				
<b>II 研究を支える基礎調査と優良種苗管理</b>				
・ 農業情報の提供（生育状況、気象データ）				
1) 経営マインドを持った力強い担い手の育成及び定着支援	企画指 導担当	地域農業振興 課、新規就 業・経営体支 援課、各振興 局	H29	県単
(1) 新規就農者の経営安定及び定着				
2) 農業情報の提供（気象データ）	企画指 導担当	水田農業グ ループ、果樹 グループ、花 きグループ	長期	県単
・ 土壌情報の活用				
1) 農地土壌炭素貯留等基礎調査事業	土壌・ 環境 チーム	振興局集落・ 水田班、野菜 班、畜産班	長期	国庫委託
・ 土壌肥料検査業務	土壌・ 環境 チーム	-	長期	県単、 一部委託
・ 土壌環境調査の実施による企業参入支援並びにほ場整備等の支援	土壌・ 環境 チーム	-	長期	県単、 一部委託
・ 病害虫発生予察情報（普通作・野菜・果樹・茶）				
1) 病害虫発生予察事業	病害虫 対策 チーム	-	H28~30	県単、 一部国 庫
(1) 発生予察技術支援対策				
2) チャの病害虫防除に関する研究	葉根菜 類・茶業 チーム	東部振興局、 中部振興局、 北部振興局、 病害虫対策 チーム	長期	県単
(1) チャの主要病害虫防除対策試験				

農業研究部（4 / 4）

試験研究課題名	担当	連携	研究	予算
I 大課題、 1 中課題 ・ 研究項目	チーム	機関	期間	区分
※「・研究項目」以下の区分：1）、（1）、①				
・ ウィルスフリー苗の作出				
1) イチゴのウィルスフリー苗の育成	果菜類 チーム	-	長期	県単
2) カンショの茎頂培養によるウィルスフリー苗育成	葉根菜 類・茶業 チーム	-	長期	県単
3) カンショの品種選定	葉根菜 類・茶業 チーム	九冲農 研セ	長期	県単
・ 地域固有の動植物の保存	企画指導 担当	各振興局	長期	県単
・ 委託薬剤試験				
1) 安全生産技術に関する研究	病害虫 対策 チーム	各振興局	長期	県単 一部委託
(1) 病害虫防除対策				
2) コリアンダーに発生した <i>Alternaria dauci</i> による病害	病害虫 対策 チーム	-	H29	県単
3) チャの病害虫防除対策試験	葉根菜 類・茶業 チーム	日本植物防疫 協会、九防協	長期	受託
(1) 農業委託試験				
・ マイナー作物農薬残留調査	病害虫 対策 チーム	北部振興局、 西部振興局、 大分県薬剤師 協会	H28～30	県単、 一部国庫

## 3. 研究成果等の公表及び情報発信

## (1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
平成28年度農業研究部試験研究成績書	H30. 3. 30	383	60
平成29年度植物防疫事業成績書（年報）	H30. 3. 31	70	300

## (2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻（号）	掲載頁
田中啓二郎・姫野和洋・ 安倍崇博・後藤英世	大分県におけるシソモザイク病の発生実態調査	九州病害虫研究会報	第63巻	108
世古雅一・田中啓二郎	大分県における白ネギ萎凋病の発生活長調査及び防除体系の検討	九州病害虫研究会報	第63巻	109
鈴木智範・山崎修一	大分県の夏秋トマトほ場におけるネコブセンチュウ類の線虫種及び抵抗性の検討	九州病害虫研究会報	第63巻	114
鈴木智範	カーバムナトリウム塩液剤による省力的線虫防除方法の検討	九州病害虫研究会報	第63巻	133
玉井光秀	単肥配合プログラムで養液栽培の肥料代半減！	現代農業	2017年 12月号	202-205
大坪亮介	新開発！ベルトプランター大苗育苗技術	施設と園芸	179号	



(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H29. 8. 25	施設園芸新技術セミナー・機器資材展 in 大分	玉井光秀	養液栽培における単肥配合技術を応用した養液組成の量的管理技術
H29. 9. 21	H29 九州農業研究発表会	能見伊久絵	大分県産高糖度ミディアムトマトの成分特性
H29. 9. 21	H29 九州農業研究発表会	武政彰	新規就農者の定着に向けた経営安定手法の検討
H29. 9. 21	H29 九州農業研究発表会	清松慎司	硝酸体窒素追肥がピーマン尻腐れ果におよぼす影響
H29. 9. 21	H29 九州農業研究発表会	佐藤如	イチゴ果房内の花序の順位と開花について
H29. 9. 21	H29 九州農業研究発表会	池永亜希子	イチゴ「大分6号」の栽培技術
H29. 11. 8	第93回九州病害虫研究会研究発表会	鈴木智範	夏秋トマト栽培におけるホスチアゼート液剤の適切な処理時期
H29. 11. 21	第39回野菜肥料研究会・平成29年度土づくり研究会	玉井光秀	かん水同時施肥技術に対する今後の期待
H30. 1. 30	H29 九州沖縄農業試験研究推進会議生産環境推進部会	森崎章好	地域資源「大麦焼酎粕」活用技術の確立
H30. 1. 30	H29 九州沖縄農業試験研究推進会議野菜花き推進部会 成績設計検討会	山野秀真	変温管理下における冬春トマトへのCO2施用効果
H30. 1. 30	H29 九州沖縄農業試験研究推進会議野菜花き推進部会 成績設計検討会	清松慎司	高軒高ハウスにおけるパプリカの仕立て本数の検討
H30. 1. 30	H29 九州沖縄農業試験研究推進会議野菜花き推進部会 成績設計検討会	池永亜希子	「大分6号」の育苗時施肥の違いが花芽分化に及ぼす影響
H30. 1. 30	H29 九州沖縄農業試験研究推進会議野菜花き推進部会 成績設計検討会	山賀陽子	夏秋ピーマンの有望品種の選定
H30. 1. 30	H30 九州沖縄農業試験研究推進会議野菜花き推進部会 成績設計検討会	上曾山 大	定植時期の違いがイチゴ「さがほのか」の収穫ピーク分散に及ぼす影響
H30. 1. 30	H29 九州沖縄農業試験研究推進会議野菜花き推進部会 成績設計検討会	大仲真喜子	大分県における業務加工用キャベツの4月どりに適する品種および定植時期の検討
H30. 2. 1	第94回九州病害虫研究会研究発表会	姫野和洋・松本翔太・田中啓二郎・久保田健嗣	シソサビダニに対する殺ダニ剤の残効性調査
H30. 2. 1	第94回九州病害虫研究会研究発表会	鈴木智範	ドローン（マルチコプター）農薬散布における薬剤付着状況及び防除効果の検討
H30. 2. 1	第94回九州病害虫研究会研究発表会	野村雄太・山村駿太郎	夏秋ピーマンにおける天敵製剤を用いたアブラムシ類防除
H30. 2. 1	第94回九州病害虫研究会研究発表会	山崎真居・姫野和洋・山村駿太郎	大分県の根深ネギ産地で採集したシロイチモジヨトウに対する各種薬剤の殺虫効果
H30. 2. 15	九州沖縄地区植物防疫関係者研修会	岡本潤	大分県の病害簡易診断の方法について
H30. 2. 16	九州沖縄地区植物防疫関係者研修会	世古雅一	今年度、新規又は特徴的な発生が認められた病害虫について
H30. 2. 21	第2回いちご研究会	佐藤如	イチゴ生産における炭酸ガス施用等の効果的活用技術

(4) 研究成果発表会

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
平成29年度第2回農林水産研究指導センター研究状況報告会 (副知事報告「根深ネギの9～11月出荷安定化に向けた大苗利用技術の開発について」)	H29. 12. 20	県庁91会議室	1	58
知事報告(根深ネギの9～11月出荷安定化に向けた大苗利用技術の開発について)	H30. 1. 25	知事室	1	20

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H29.4.18	病害虫防除員新任者研修会	農業研究部	10	
H29.4.26	普及方法(基礎:前期)研修	農業研究部	15	地域農業振興課
H29.5.16	J A全農視察研修(ハムトプランター)	農業研究部	4	J A全農おおい
H29.5.17	専門技術研修(基礎・茶)	農業研究部	2	地域農業振興課
H29.5.24	普及指導員専門技術研修(安全農業)	農業研究部	20	地域農業振興課
H29.6.2	病害虫セミナー	農業研究部	18	
H29.6.12	にら視察研修	農業研究部	4	高知県農業試験場
H29.6.13	社会科学学習	大分市	165	大分市立西の台小学校
H29.6.20	専門技術(基礎:野菜)研修	農業研究部	5	地域農業振興課
H29.6.20	専門技術研修(基礎・野菜)	農業研究部	2	地域農業振興課
H29.6.22	営農基礎研修会	農業研究部	50	大分県農協協同組合中央会
H29.6.22	J A全農営農研修会	農業研究部	50	J A全農おおい
H29.7.11	ピーマンの試験の取り組み	農業研究部	8	宮崎県中部地区営農振興協議会野菜部会
H29.7.25	第49回大分県茶品評会審査会	農業研究部	13	大分県茶業協会
H29.8.16	就農準備研修生に対する就農支援講義	農業大学校	25	農業大学校
H29.8.25	施設園芸新技術セミナー・機器資材展in大分	日田市	1000	(社)日本施設園芸協会
H29.8.28	イチゴの挿し苗技術研修	農業研究部	4	
H29.9.6	専門技術(基礎:野菜)研修	農業研究部	5	地域農業振興課
H29.9.14	ピーマンの新品種について	農業研究部	7	JA豊後大野ピーマン部会
H29.9.25	大分白ねぎ部会宇佐支部視察研修	農業研究部	25	大分白ねぎ部会 宇佐支部生産者
H29.10.3	大分県茶品評会研修会	大分市	50	大分県茶業協会・地域農業振興課
H29.10.6	普及指導員課題解決研修(野菜・基礎)	農業研究部	20	地域農業振興課
H29.10.10	水田畑作物栽培土壌対策およびほ場管理ソフト研修会	花きグループ研修室	30	地域農業振興課
H29.10.19	果菜類の試験研究状況	農業研究部	10	
H29.10.19	農業大学校 就農研修生研修	農業研究部	20	農業大学校
H29.10.23	大分県の畑地土壌について	農業大学校	25	農業大学校
H29.10.30	カンショ機械収穫実演会	豊後大野市	50	豊肥振興局
H29.11.14	課題解決研修(集落営農)	花きグループ研修室	40	地域農業振興課
H29.11.15	課題解決研修(野菜)	農業研究部	25	地域農業振興課
H29.11.15	普及指導員線虫研修	農業研究部	20	地域農業振興課
H29.11.21	第39回野菜肥料研究会・平成29年度土づくり研究会	熊本県	50	全農
H29.11.22	イチゴの栽培管理について	農業研究部	2	
H29.12.8	施肥・防除対策研修会	大分市	150	地域農業振興課
H29.12.12	茶PT	日出総合庁舎ほか	15	地域農業振興課
H29.12.14	イチゴ「さがほのか」先絞り果対策について	農業研究部	2	
H29.12.20	課題解決研修(GAP)	農業研究部	15	地域農業振興課
H30.1.9	大分なら広域共販技術者協議会役員会	大分市	8	大分なら広域共販技術者協議会
H30.1.16	専門技術(基礎:茶)研修	農業研究部	3	地域農業振興課
H30.1.16	豊後高田市白ねぎ若手生産者研修会	豊後高田市豊崎公民館	20	豊後高田市農業ブランド推進課
H30.1.16	豊後高田市白ねぎ若手研修会	豊後高田市	15	豊後高田市
H30.1.17	専門技術研修(基礎・茶)	農業研究部	2	地域農業振興課
H30.1.24	おおいの農業農村施策研修会	県庁	70	農村整備計画課
H30.1.24	イチゴ「大分6号」栽培技術研修会	農業研究部	38	
H30.1.25	九州明日の農業を考える会	別府市	50	九州明日の農業を考える会
H30.2.13	果菜類の試験研究状況	農業研究部	8	JAぎふ青年部
H30.2.15	九州・沖縄地区植物防疫関係者研修会	宮崎市	70	九州農政局、九州沖縄地区病害虫防除所職員連絡協議会
H30.2.20	農業指導士資格試験認定研修	大分市	150	地域農業振興課
H30.2.21	第2回いちご研究会	福岡市	50	全国農業協同組合連合会 九州営農資材事業所
H30.2.22	茶品質向上研修会	大分市	50	地域農業振興課
H30.3.22	オオバ研修会	大分市	30	中部振興局
H30.3.27	イチゴ新品種ベリーツ(大分6号)農業研究部技術研修会	農業研究部	70	園芸振興室

(2) 受入研修

① 長期研修者受け入れ

対象者	所属	研修内容	期間
学生1名	大分県立農業大学校	茶の栽培及び加工研修	H29. 4. 24~5. 12 H29. 10. 10~10. 26
学生1名	大分県立農業大学校	プロジェクト課題に係る調査・研究等支援、指導	H29. 4. 3~ H30. 1. 22
学生52名	大分県立農業大学校	講義「農業と化学」(全7回)	H29. 11. 28~ H30. 1. 23

② 生産者、団体職員、普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数	
生産者	29	334	
団体等職員	8	269	
普及指導員	11	103	
学生	1	1	※大学
児童・生徒	1	30	※小中高校
海外からの視察者	0	0	
その他	29	78	
計	79	815	

(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
日本一の夏秋ピーマン産地の土台を支える技術の確立	IPMによるアザミウマ防除技術のピーマン産地への普及	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物農薬導入実演会を野津、豊後大野で実施するとともに、病害虫調査を行った。</li> <li>・IPM技術導入研修会、夏秋ピーマン連絡協議会青年部研修会、有機農業者養成講座を実施し成果が他産地へも速やかに普及するよう現地指導を行った。</li> <li>・天敵製剤も加えた防除暦の提案を行った。</li> </ul>
一番茶における適採適期の予測技術について	ドリンク茶法人における一番茶適期摘採予測による収穫計画作成とその実施	茶PT会議や現地調査を実施し、摘採計画を作成した。茶工場の稼働体制に課題も見られたことから、法人間の連携を促すため法人合同品質向上対策研修会の開催など現地指導を行った。
イチゴ大規模経営体を支援・育成する生産システムの確立	県育成品種「大分6号」の普及	「大分6号」の親株を確保し、1haの作付がされた。イチゴ生産者を対象に研修会や現地指導をおこない普及を図った。また、栽培マニュアルを作成した。

## II-2 水田農業グループ

### 1. 組織および職員配置状況

#### (1) 組織



#### (2) 職員配置状況

平成29年4月1日現在

組織	職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
		事務	技術						
グループ長			1					1	
管理担当		3		1				4	
企画指導担当			2					2	広域普及指導員1名
水田農業チーム			8	4				12	非常勤職員1名
計		3	11	5	0	0	0	19	

#### (3) 業務

- ①水田農業の確立に関する試験研究
- ②水稲・麦・大豆の新品種選定及び栽培技術改善
- ③水稲・麦・大豆優良種子生産事業

2. 試験研究課題  
農業研究部 水田農業グループ

試験研究課題名	担当	連携	研究	予算
I 大課題、 1 中課題 1) 研究項目	チーム	機関	期間	区分
<b>I 構造改革を加速し、もうかる農林水産業を実現するための研究開発</b>				
<b>1 構造改革の更なる加速のための技術開発</b>				
・ ICT、RTを活用した生産環境情報収集による低コスト化技術の開発			H29該当なし	
<b>2 ブランド化のための技術開発</b>				
・ 酒造好適米品種の選定と栽培技術の確立				
1) 県産米利用拡大に向けた酒米生産技術の確立	水田農業 チーム	県酒造組合 振興局	H28～30	県単
・ 食味、機能的、安全性などに優れた品種の選定と栽培技術の確立				
1) 水稲・麦・大豆の品種選定	水田農業 チーム	(国研) 農研機構 農集課、振興局	H28～30	県単
・ 地場企業に向けた麦類・大豆の品種選定と省力栽培技術の確立				
1) 地場醸造企業への安定供給に向けた高品質麦類の生産技術の確立	水田農業 チーム	県酒造組合 県味噌醸造組合	H27～29	県単
<b>3 マーケットインの商品(もの)づくりを加速のための技術開発</b>				
・ 酒造好適米品種の選定と栽培技術の確立			H29該当なし	
<b>4 力強い担い手を育成するための技術開発</b>				
・ 土地条件に対応した水稲直播栽培等低コスト栽培技術の確立				
1) 経営規模拡大と低コスト化をめざした水稲乾田直播栽培の体系化実証	水田農業 チーム	(国研) 農研機構 アグリテクノ矢崎	H29～31	県単 国庫
・ 水田フル活用に向けた新規需要米 ※、麦・大豆の低コスト安定栽培技術の確立			H29該当なし	
・ 農地集積や大区画化に対応した水田営農システムの確立			H29該当なし	
・ 帰化植物、薬剤抵抗性等の難防除雑草の防除技術の開発				
1) 生育制御と雑草防除による大豆の高位安定生産技術の確立	水田農業 チーム	(国研) 農研機構 振興局	H27～29	県単 国庫
・ 水田の省力管理技術の開発			H29該当なし	
1) 肥効調節型肥料の基肥全量施用による二条大麦の省力安定栽培法の確立 (予備試験)	水田農業 チーム	ジェイカムアグリ (株)	H29	県単
<b>5 地域資源の活用と環境対策のための技術開発</b>				
・ 焼酎粕等の未利用資源の活用による地域循環型栽培法の確立				
1) 地域資源「大麦焼酎粕」活用技術の確立 ～普通作物・野菜における焼酎粕濃縮液の肥料成分利用技術の開発～	水田農業 チーム	三和酒類(株)、農 業研究部、振興局	H27～29	国庫
<b>II 研究を支える基礎調査と優良種苗管理</b>				
・ 水稲、麦類、大豆の作柄判定調査の情報提供による生産指導支援				
1) 水稲、麦類、大豆の作柄判定調査	水田農業 チーム	農集課、振興局	長期	県単
・ 主要農作物(水稲、麦類、大豆)の優良種子管理				
1) 主要農作物等種子対策事業	水田農業 チーム	農集課、振興局	長期	県単

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
平成28年度水田夏作試験成績書	H30. 3. 22	248	60
平成28年度(平成29年産)水田冬作試験成績書	H30. 3. 22	110	60
平成29年産大分県飼料用米栽培マニュアル	H30. 3. 30	16	1,500

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

該当なし

## (3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H29.4.15	日本雑草学会第56回大会	河野 礼紀	大分県における大豆作の難防除雑草の発生実態と経営に及ぼす影響
H29.9.20	九州農業研究発表会 九州沖縄地域マッチングフォーラム(ポスター発表)	河野 礼紀	今後注意が必要な大豆作の難防除雑草!!
H29.9.21	九州農業研究発表会 作物部会(水田作)／日本作物学会九州支部第94回講演会	柿原千代文・近乗偉夫・森本美和・河野礼紀	大豆「フクユタカ」における早播き・摘芯による安定栽培法
H29.11.23	日本雑草学会シンポジウム	河野 礼紀	大豆作の難防除雑草の発生実態と対策

## (4) 研究成果発表会

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題(発表者)	参加者数
平成29年度第2回農林水産研究指導センター研究状況報告会	平成29年 12月20日	県庁舎本館 91会議室	生育制御と雑草防除による大豆の高位安定生産技術の確立 「大豆作難防除雑草の発生実態と対策」 (水田農業グループ 水田農業チーム 研究員 河野 礼紀)	58名
全国農業関係試験研究場所長会平成29年度研究功労者表彰式	平成29年 6月22日	東京都	農業環境工学を活用した各種低コスト栽培技術の確立 (水田農業グループ 水田農業チーム 専門研究員 近乗 偉夫)	70名

## 4. 研究成果の普及、技術指導

## (1) 講習会、研修会の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
H29. 4. 25	耕畜連携研修会	花きグループ	48	地域農業振興課主催
H29. 4. 28	普及方法基礎研修（普通作：新規）	水田農業グループ	8	地域農業振興課主催
H29. 5. 15	北部地区大豆研修会	北部振興局	100	北部振興局から要請
H29. 5. 26	東部大豆播種前研修会	国東市	30	東部振興局から要請
H29. 5. 30	水稲乾田直播場内試験	水田農業グループ	30	県農協と共催
H29. 6. 14	専門技術基礎研修（作物、集落営農）	水田農業グループ	7	地域農業振興課主催
H29. 7. 5	全農営農指導員研修	大分市	12	全農大分県本部から要請
H29. 7. 5	越生農業生産組合視察研修	水田農業グループ	28	越生農業生産組合から要請
H29. 7. 11	山香つや姫研修会	杵築市	25	杵築市から要請
H29. 7. 20	大豆摘芯実演会	宇佐市	15	
H29. 7. 25	玖珠九重良食味米生産研修会	玖珠町	6	西部振興局から要請
H29. 8. 17	専門技術研修基礎	大分市	8	地域農業振興課主催
H29. 8. 3	大豆ほ場における機械除草機による除草実演会	宇佐市	20	
H29. 8. 9	農林水産研究指導センター若手研究員研修	豊後大野市	46	センター本部から要請
H29. 8. 25	ドローン実演会	水田農業グループ	35	全農大分県本部共催
H29. 8. 27	全国つや姫フォーラム in おおいた	別府市	120	農地活用・集落営農課から要請
H29. 9. 13	長崎県県北振興局視察研修	水田農業グループ	6	長崎県県北振興局から要請
H29. 10. 10	水田畑作物栽培土壌対策およびほ場管理ソフト研修会	花きグループ	39	地域農業振興課主催
H29. 11. 8	麦、大豆栽培管理・スマート農業研修会	宇佐市	30	北部振興局主催
H29. 11. 10	普及方法研修（基礎）	水田農業グループ	8	地域農業振興課主催
H29. 11. 14	作物課題解決研修	花きグループ	35	地域農業振興課主催
H29. 11. 29	新規採用普及員研修	花きグループ	8	地域農業振興課主催
H29. 12. 15	施肥防除対策研修会	大分市	100	地域農業振興課から要請
H29. 12. 18	大豆不耕起播種技術の勉強会	水田農業グループ	15	地域農業振興課主催
H30. 1. 25	日出町飼料用米研修	日出町	24	東部振興局から要請
H30. 1. 29	豊後高田市 上野地区営農組合視察研修	豊後高田市	15	北部振興局から要請
H30. 2. 2	県水田農業高度化研修会	大分市	100	農地活用・集落営農課から要請
H30. 2. 13	国見町採種部会視察研修	水田農業グループ	10	東部振興局から要請
H30. 2. 14	つや姫生産者研修会	別府市	80	農地活用・集落営農課から要請
H30. 2. 20	農業指導士養成研修	大分市	100	地域農業振興課から要請
H30. 2. 26	作物課題解決研修	水田農業グループ	43	地域農業振興課から要請
H30. 3. 1	大分県自給飼料増産セミナー	大分市	25	畜産技術室から要請
H30. 3. 8	経営研修基礎	花きグループ	8	地域農業振興課主催
H30. 3. 13	水田地力対策研修	農業研究部	24	地域農業振興課主催
H30. 3. 19	長崎県農林開発センター視察研修	水田農業グループ	3	長崎県農林開発センターから要請

(2) 受入研修

①長期研修者受入

該当なし

②生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	3	39
団体等職員	5	15
普及指導員	8	142
学生	0	0
児童・生徒	0	0
海外からの視察者	0	0
その他	1	3
計	17	199

※大学  
※小中高校

(3) 指導・研修プロジェクトの実証

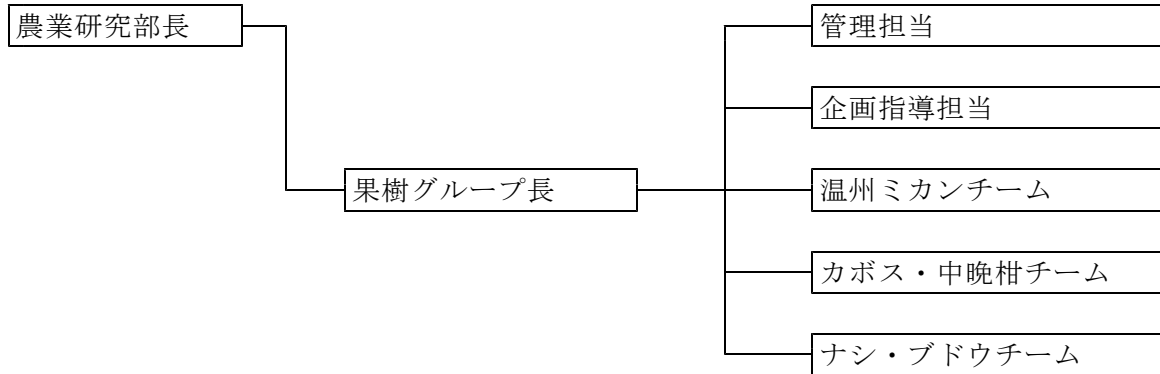
課題名	目的	現地実証等の概要
水稲乾田直播栽培法の普及	水稲乾田直播栽培技術を現地で実証し普及を図る。	現地12圃場において、水稲乾田直播栽培の問題点を把握しながら実証展示を行った。



## II-3 果樹グループ

### 1. 組織および職員配置状況

#### (1) 組織



#### (2) 職員配置状況

平成29年4月1日現在

組 織	職 員		技 師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備 考
	事 務	技 術						
グ ル ー プ 長		1					1	
管 理 担 当	1						1	
企 画 指 導 担 当		3					3	広域普及指導員 2
温 州 ミ カ ン チ ー ム		4		1			5	
カ ボ ス ・ 中 晩 柑 チ ー ム		4		1			5	
ナ シ ・ ブ ド ウ チ ー ム		5	2		1		8	
計	1	17	2	2	1		23	

#### (3) 業務

- ①温州ミカンの優良系統の選抜、栽培技術に関する試験研究
- ②カボス・中晩柑等の育種、優良系統の選抜、栽培技術に関する試験研究
- ③ナシ・ブドウ等の優良系統の選抜、栽培技術に関する試験研究
- ④ハウスミカン、施設中晩柑に関する試験研究
- ⑤カンキツ及び落葉果樹の病害虫に関する試験研究
- ⑥生産者に対する研修及び現地指導

## 2. 試験研究課題

農業研究部 果樹グループ

試験研究課題名	担当	連携機関	研究期間	予算区分
I 大課題 1 中課題 ・研究項目 (1)小課題				
I 構造改革を加速し、もうかる農林水産業を実現するための研究開発				
1 構造改革の更なる加速のための技術開発				
・ハウスミカンの早期成園化及び高生産技術の確立				
(1) 2020年代のハウスミカンリードする高収益栽培技術の開発	温州ミカンチーム		27～29	県単
・ナシの早期成園化及び高生産技術の確立				
(2) 若者に魅力ある所得2倍の高収益、早期成園化技術「ナシ流線型仕立」の確立	ナシ・ブドウチーム		26～28	県単
2 ブランド化のための技術開発				
・カンキツ優良品種の選定と栽培技術の確立				
(3) カンキツ系統適応性検定試験	温州ミカンチーム カボス・中晩柑チーム		28～30	県単
・落葉果樹の優良品種の選定と栽培技術の確立				
(4) 落葉果樹の系統適応性検定試験	ナシ・ブドウチーム		28～30	県単
・カンキツの品種の育成と栽培技術の確立				
(5) 無加温ハウスに適したカンキツの品種選定及び栽培技術の確立	温州ミカンチーム		28～30	県単・国庫
(6) 県南地域を支える地域特産中晩柑の高品質・安定生産技術の確立	カボス・中晩柑チーム		26～28	県単
(7) 温暖化に適したカンキツの品種選定及び栽培技術の確立	温州ミカンチーム		26～30	県単
・ナシ極早生品種の育成と栽培技術の確立				
(8) 「豊里」につづけ！うまくて高収量な大分県オリジナル極早生ナシの開発	ナシ・ブドウチーム		28～30	県単
・特色あるワイン専用品種の育成及び栽培技術の確立				
(9) ブドウ産地再興をかけた特色あるワイン専用品種の開発	ナシ・ブドウチーム		27～29	県単
・落葉果樹の優良品種の選定と栽培技術の確立				
(10) いつも美味しい！「おおいしシャインマスカット」生産技術の確立	ナシ・ブドウチーム		26～28	県単
3 マーケットインの商品(もの)づくりを加速するための技術開発				
・カボスの周年安定出荷のための栽培及び貯蔵方法の確立				
(11) グリーンカボス安定出荷に対応した技術開発 ～産地から店頭まで～	カボス・中晩柑チーム		28～30	県単
・果樹の病虫害防除体系の確立				
(12) 果樹の病虫害防除並びに植物生長調節剤に関する試験				
①温州ミカン、カボス・中晩柑	温州ミカンチーム カボス・中晩柑チーム		28～30	県単・国庫
②ナシ・ブドウ	ナシ・ブドウチーム		28～30	県単
(3) ブドウ産地再興をかけた特色あるワイン専用品種の開発	ナシ・ブドウチーム	三和酒類 ・香川大	27～29	県単
4 力強い担い手を育成するための技術開発				
・施設柑橘の大規模化を可能にする技術確立			29該当なし	
・ハウスミカンの省エネ及び高収益栽培技術の確立				
(1) 2020年代のハウスミカンリードする高収益栽培技術の確立	温州ミカンチーム		27～29	県単
5 地域資源の活用と環境対策のための技術開発				
・温暖化に適応可能な新たな果樹品目の探索と栽培技術の確立				
(7) 温暖化に適したカンキツの品種選定及び栽培技術の確立	温州ミカンチーム		26～30	県単
II 研究を支える基礎調査と優良種苗管理				
・農業情報の提供(生態調査)	果樹グループ		長期	県単
①カンキツの生態調査				
②落葉果樹の生態調査				
・優良品種系統の原母樹の確保と優良穂木の管理	果樹グループ		長期	県単
・地元ゆかりの動植物の保存	果樹グループ		長期	県単

## 3. 研究成果等の公表及び情報発信

## (1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	項数	部数
平成28年度大分県農林水産研究指導センター果樹グループ試験研究年報CD版	H30.1.26	246	110枚

## (2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
矢野 拓	Growth analysis of potted seedlings of Satsuma mandarin (Citrus unshiu Marc.) under different light conditions and air temperatures.	The Horticulture Journal	87	34-42
矢野 拓	高収量と省力化の両立が可能なハウスミカン垣根仕立て栽培技術の確立	グリーンレポート	581	12-13
高倉晏希子	果樹園管理のポイント「ナシ」	果実日本	73巻-2月	92-94
高倉晏希子	果樹園管理のポイント「ナシ」	果実日本	73巻-4月	92-94

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H29.5.18	平成29年度九州沖縄農業試験研究推進会議果樹部会	高倉晏希子	温暖な九州の気候にあわせた野生ブドウを用いた着色良好な赤ワイン用ブドウの開発
H29.8.31	日本生物環境工学会	矢野 拓	<sup>13</sup> Cを用いたウンシュウミカンのソース・シンクユニットにおける転流特性の評価
H29.9.21	平成29年度九州沖縄農業研究発表会(果樹部門)	矢野 拓	果実成長期の夜温、着果量、木部圧ポテンシャルがハウスミカン果実の品質と砂じょう数に及ぼす影響
H30.1.30	落葉果樹研究会	福田賢二	ナシ流線型仕立に用いる大苗育苗施設「大苗工場」の設置経費削減と省力化、生育向上
H30.1.31	平成29年度常緑・落葉果樹病害虫研究会(虫害分科会)	檜原 稔	ミカンバエのモニタリング手法及び薬剤防除効果の検証
H30.2.6	平成29年度九州沖縄農業試験研究推進会議果樹部会(研究成果情報)	佐藤洋平	ブドウ「シャインマスカット」の果皮強度の低下技術
H30.3.16	日本農業気象学会	矢野 拓	デンドロメータを用いた施設栽培カンキツの水ストレス程度の推定
H30.3.26	第62回日本応用動物昆虫学会鹿児島大会	檜原 稔	ミカンバエに対する新たなモニタリングトラップの検討

(4) 研究成果発表会

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
平成29年度第1回農林水産研究指導センター研究状況報告会 (とにかく美味しい！特色ある「おおいたシャインマスカット」の生産技術の確立(食感改善技術、長期貯蔵技術))	2017/10/4	県庁舎本館 81会議室	1	58
九州沖縄推進会議(カンキツ成績検討会)	2018/2/6-7	佐賀市 (ホテルグランデ はがくれ)	10	29
九州沖縄推進会議(落葉果樹成績検討会)	2018/2/6-7	佐賀市 (ホテルグランデ はがくれ)	5	25

4. 研究成果の普及、技術指導  
(1) 講習会、研修会の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H29.5.9	カボス講座	豊肥振興局	7	豊肥振興局
H29.5.20	ナシ大苗研修	日田市	12	振興局、園芸振興室他
H29.5.26	県南地区ハウスみかんせん定講習会	佐伯市	10	JAおおいた県南柑橘選果場
H29.5.31	県南地区温州みかんマルチ栽培研修会	臼杵市、佐伯市	30	JAおおいた県南柑橘選果場
H29.6.10	平成29年度第1回みかん学校	南部振興局	18	JAおおいた佐伯地域柑橘研究会
H29.6.13	カボス講座	豊肥振興局	6	豊肥振興局
H29.6.19	ハウスミカン研修会	果樹グループ(国東)	5	JAおおいた柑橘研究会青年部
H29.6.26	県南かぼすエリア別研修会	JAおおいた臼杵事業部	50	県南かぼす部会
H29.6.27	大分市ミカンバエ防除対策研修会	大分市滝尾選果場	30	大分市、中部振興局
H29.6.27	ナシ大苗研修	日田市	11	振興局、園芸振興室他
H29.6.30	津久見市柑橘組合長会議	津久見市役所	20	津久見市、中部振興局
H29.7.20	次代につなぐ果樹産地づくり柑橘栽培技術研修会	果樹グループ	20	杵築市地域柑橘研究会、大分県柑橘研究会
H29.7.21	平成29年度露地みかん研修会	杵築柑橘選果場、果樹G(国東)	54	大分県柑橘研究会
H29.7.25	ナシ大苗研修	日田市	10	振興局、園芸振興室他
H29.8.1	県南地区ハウスおおいた早生せん定研修会	津久見市	7	JAおおいた県南柑橘選果場
H29.8.23	次代につなぐ果樹産地づくり研修会	大分市	120	大分県果樹振興協議会、JAおおいたカボス部会
H29.8.28	ナシ大苗研修	日田市	12	振興局、園芸振興室他
H29.9.5	平成29年度第4回みかん学校	南部振興局	15	JAおおいた県南柑橘研究会
H29.9.15	県南地区ハウスみかん部会研修会	南部振興局	10	JAおおいた県南柑橘選果場
H29.9.28	ナシ大苗研修	日田市	14	振興局、園芸振興室他
H29.10.6	みかん園検査識別研修会	大分市	15	地域農業振興課
H29.10.10	平成29年度第5回みかん学校	南部振興局	15	JAおおいた県南柑橘研究会
H29.10.18	佐賀関みかん学校	カボス・中晩柑チーム	10	佐賀関みかん塾
H29.10.30	ハウスみかんせん定学習教材作成研修会	杵築柑橘選果場	15	園芸振興室
H29.11.13	JAおおいたハウスみかん部会全員集会	杵築柑橘選果場	62	JAおおいたハウスみかん部会
H29.11.27	ハウスミカン研修会	果樹グループ(国東)	10	JAおおいた柑橘研究会青年部
H29.12.6	温州ミカン・ブドウ・ナシ栽培の視察研修	宇佐市	12	宇佐産業科学高校グリーン環境科
H29.12.11	農大生視察研修会	カボス・中晩柑チーム	4	農業大学校
H29.12.19	県南施設部会研修会	南部振興局	14	JAおおいた県南柑橘選果場
H29.12.26	果樹防除暦検討会	宇佐市ナシ・ブドウチーム	40	園芸活性化協議会果樹部会
H29.12.27	中晩柑品種研修会	果樹グループ(国東)	10	JAおおいた柑橘研究会青年部
H29.12.28	JAおおいたハウスデコボン部会せん定講習会	杵築市	20	JAおおいたハウスデコボン部会
H30.1.12	ハウスみかん垣根仕立て棚張り講習会	津久見市	7	普及指導員研修
H30.1.16	平成29年度第7回みかん学校	南部振興局	18	JAおおいた佐伯地域柑橘研究会
H30.1.26	中津柑橘若手生産者研修会	カボス・中晩柑チーム	5	園芸活性化協議会果樹部会
H30.2.8	課題解決研修(果樹)	中部振興局	30	普及指導員研修
H30.2.14	視察研修会	カボス・中晩柑チーム	20	東桜島
H30.2.26	南信州工房視察研修会	カボス・中晩柑チーム	15	南部振興局、新規就業・経営体支援課
H30.2.27	ミカンバエ防除対策関係者会議	大分市	35	地域農業振興課
H30.3.1	中津柑橘若手生産者研修会	カボス・中晩柑チーム	6	北部振興局
H30.3.2	平成29年度ハウスみかん研修会	杵築柑橘選果場	60	大分県柑橘研究会
H30.3.13	平成29年度第9回みかん学校	南部振興局	18	JAおおいた佐伯地域柑橘研究会
H30.3.13	平成29年度中晩柑研修会	県南柑橘選果場	65	大分県柑橘研究会
H30.3.19	視察研修会	カボス・中晩柑チーム	20	長与町
H30.3.19	小川香料視察研修会	カボス・中晩柑チーム	15	南部振興局、新規就業・経営体支援課

(2) 受入研修

① 長期研修者受入

なし

② 生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	95	429
団体等職員	15	35
改良普及指導員(公務員)	42	102
学生	8	93
海外研修者	1	20
その他	4	17
計	165	696

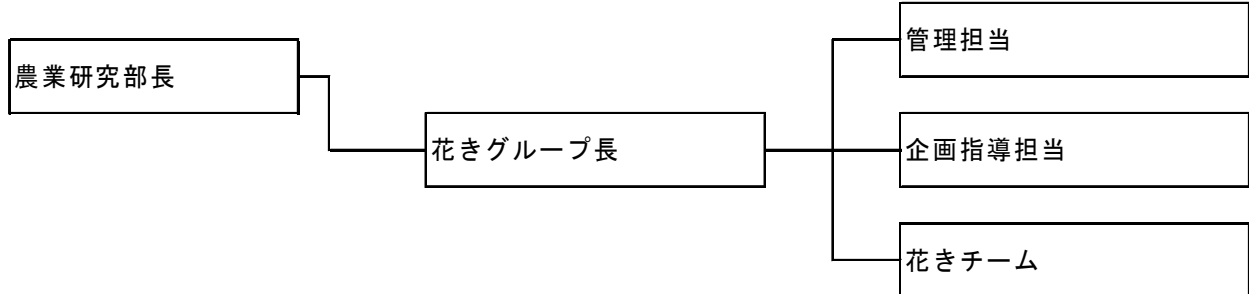
(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
2020年代のハウスミカンをリードする高収益栽培技術の開発	ハウスミカンの改植後の未収益期間の短縮と単収向上を図るため、垣根仕立ての栽培技術の普及を図る	杵築市の実証圃において、二年目収量7t/10aの収量が見込める葉数確保ができた。 また、津久見市で8aが植栽され、杵築市で15aの導入がされた。
若者に魅力ある所得2倍の高収益、早期成園化技術「ナシ流線型仕立」の確立	ナシの改植後の未収益期間の短縮と反収向上を図るため、流線型仕立の栽培技術の普及を図る	大苗工場の増設が進み970本(本ほ95a相当)の大苗が現地導入された。 また、7月の九州北部豪雨に伴う大苗工場の被害、ナシ園被害の対応にあたり、日田市の大苗工場(全壊)は再建の見込みとなっている。

Ⅱ-4 花きグループ

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

平成29年4月1日現在

組織	職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
		事務	技術						
グループ長	管理担当	1	1				1	2	
企画指導担当	企画指導担当		1					1	
花きチーム	花きチーム		7	2		1		10	(うち育休1)
計		1	9	2	0	1	1	14	

(3) 業務

- ①花きの栽培および病害虫に関する研究
- ②バイオテクノロジーを活用した品種・農業技術の開発
- ③花きの研究成果の現地普及
- ④優良種苗の供給
- ⑤花き指導者、生産者に対する研修および現地指導

2. 試験研究課題

農業研究部 花きグループ

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
I 大課題、 1 中課題 ・ 研究項目 ※「・研究項目」以下の区分：1)、(1)、①				
I 構造改革を加速し、もうかる農林水産業を実現するための研究開発				
1 構造改革の更なる加速のための技術開発				
・ 新たな品目での統合環境制御による栽培技術開発 1) キクの環境制御技術による品質向上と安定生産	花きチーム		H28～30	県単
・ 高収益栽培技術の開発			H29該当なし	
2 ブランド化のための技術開発				
・ 地域特性に即した品種選定と栽培技術確立			H29該当なし	
・ オリジナル品目の開発 1) 遺伝資源を活用したオリジナル花きの育種と栽培技術の確立	花きチーム		H29～31	県単
・ 新規、高付加価値品目や新たな品種の開発 1) 日本一のホオズキ産地を支える優良系統育種技術の開発	花きチーム		H29～31	県単
3 マーケットインの商品(もの)づくりを加速のための技術開発				
・ 新規、高付加価値品目や新たな品種の開発			H29該当なし	
・ 鮮度、品質保持技術の開発 1) 他産地の追従を許さない!ホオズキ栽培技術の確立			H29～31	
・ 難防除病害虫防除技術 1) 数種弱毒ウイルスを用いたホオズキのウイルス病総合防除技術の構築	花きチーム	農研機構 宮崎県	H27～29	国庫 県単
4 力強い担い手を育成するための技術開発				
・ 統合環境制御技術の開発とマニュアル化 1) スイートピーの安定生産技術の確立とオリジナル品種の育成	花きチーム		H28～30	県単
5 地域資源の活用と環境対策のための技術開発				
・ 杉皮パーク等地域資源の農業利用技術開発 1) 地域資源「大麦焼酎粕」活用技術の確立	花きチーム		H27～29	県単
・ 省エネルギー栽培技術、高生産システム技術開発			H29該当なし	
II 研究を支える基礎調査と優良種苗管理				
・ 戦略品目や推進品目の種苗管理供給及び系統選抜 1) 優良種苗供給	花きチーム		長期	県単
・ 地域固有種の収集、保存			H29該当なし	
・ 薬草の特性把握、品種保存			H29該当なし	

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
平成28年度花きグループ試験成績書(CD版)	30.3.30	113	60

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
米田 恵美	大分県のホオズキにおけるウイルス病の発生実態	九州病害虫研究会報	63	23-29
米田 恵美	難防除病害の最新情報と現場で取れる対策 キク白さび病	技術と普及	55	10-11



## (3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
29.8.2	キク白さび病防除体系確立に係る検討会	米田 恵美	キク白さび病防除の現状について
29.11.1	キク白さび病研究会	米田 恵美	大分県で問題となっているキク白さび病について
30.2.1	九州病害虫研究会	米田恵美・石松敏樹	ホオズキのウイルス病に対する2種弱毒ウイルスの防除効果
29.7.10	長崎県 第1回環境制御技術習得研修会	甲斐 克明	輪ギク等における環境制御技術の試験研究 ～これまでの研究成果について～
29.8.25	施設園芸新技術セミナー	甲斐 克明	キクの環境制御技術による品質向上と安定生産 ～これまでの研究成果について～
29.9.21	園芸学会九州支部	甲斐克明・伊東久徳	キクの複合環境制御技術の検討 ー輪ギク3月開花作型におけるミスト噴霧および炭酸ガス施用の効果ー
30.1.31	九州沖縄農業試験研究 研究成果情報	甲斐克明・伊東久徳	夏秋輪ギクに対するミスト噴霧の品質向上効果

## (4) 研究成果発表会

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業 「数種弱毒ウイルスを用いたホオズキのウイルス病総合防除技術の構築」 平成29年度 現地検討会	29.6.21	宮崎県	1	11
平成29年度第1回農林水産研究指導センター研究状況報告会 (輪ギク産地の品質向上を図る ～系統選抜育種への取り組み～)	29.10.4	県庁	1	57
九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜花き推進部会 遺伝子研究連絡会	29.10.19～20	久留米市	1	23
農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業 「数種弱毒ウイルスを用いたホオズキのウイルス病総合防除技術の構築」 平成29年度 中間検討会	29.10.26	花きグループ	1	11
九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜・花き推進部会 花き成績設計検討会	30.1.30～31	久留米市	4	43
農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業 「数種弱毒ウイルスを用いたホオズキのウイルス病総合防除技術の構築」 平成29年度 事後評価会議	30.2.9	東京都	1	9
農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業 「数種弱毒ウイルスを用いたホオズキのウイルス病総合防除技術の構築」 成果発表	30.3.12	花きグループ	1	15

## 4. 研究成果の普及、技術指導

## (1) 講習会、研修会の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
29. 4. 17	大麦焼酎粕散布研修会	竹田市	7	豊肥振興局
29. 6. 16	飯田農協花卉部会研修	花きグループ	7	九重町飯田農業協同組合
29. 6. 19	試験成果検討会	花きグループ	27	主催
29. 6. 23	チェリーピー研修会	花きグループ	18	チェリーピー生産部会
29. 7. 12～14	専門技術研修	花きグループ	3	地域農業振興課
29. 8. 18	ホオズキ播種研修会	花きグループ	19	園芸振興室
29. 9. 22	スイートピー栽培研修会	花きグループ	25	園芸振興室
29. 10. 17	種苗連絡協議会	全農県本部	30	園芸振興室
29. 10. 25	トルコギキョウ（秋作）品種検討会	花きグループ	10	主催
29. 10. 25	花き卸売市場協会研修	花きグループ	24	大分園芸花市場
29. 11. 6	園芸技術者研修会	農業文化公園	25	園芸振興室
29. 11. 8	花き園芸趣味の講座（特別講座）	別府市	10	主催
29. 11. 13	トルコギキョウ栽培研修会	花きグループ	42	主催
29. 11. 20	スマート農業検討会	花きグループ	40	地域農業振興課
29. 11. 21	花き園芸趣味の講座	花きグループ	28	主催
29. 12. 18	ヤマジノギク担当者会議	花きグループ	11	園芸振興室
29. 12. 19	花き園芸趣味の講座	花きグループ	24	主催
29. 12. 7～8	専門技術研修	花きグループ	3	地域農業振興課
30. 1. 24	玖珠美山高校地域産業科2年生研修	花きグループ	7	玖珠美山高校
30. 2. 2	J Aおおいた千歳支店視察研修	花きグループ	30	J Aおおいた千歳支店
30. 2. 8	平成29年度東部地区花き生産者協議会研修会	花きグループ	35	東部振興局
30. 3. 13	平成29年度西部地区キク病害虫研修会	玖珠総合庁舎	20	西部振興局
30. 3. 13	佐伯豊南高校農食ビジネス科1年生研修	花きグループ	37	佐伯豊南高校
30. 3. 13	花き園芸趣味の講座	花きグループ	30	主催

## (2) 受入研修

## ① 長期研修者受け入れ

該当なし

## ② 生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	16	236
団体等職員	5	76
普及指導員	12	108
学生	1	26
児童・生徒	3	123
海外からの視察者	1	8
その他	8	178
一般来場者	670	2178
計	716	2933

※大学

※小中高校

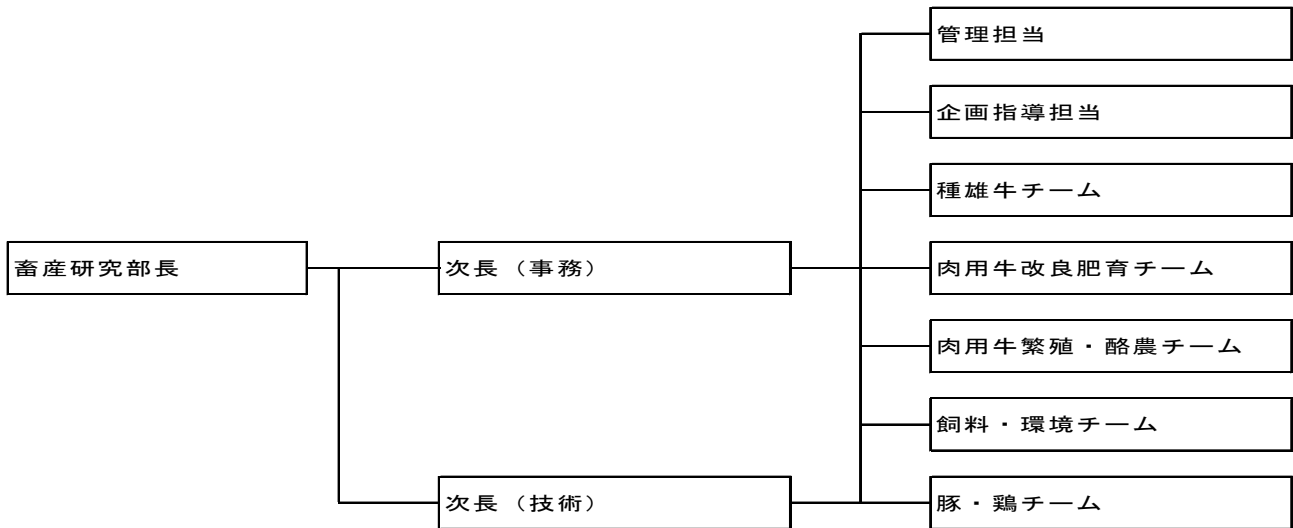
## (3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
キク的环境制御技術による品質向上と安定生産	夏秋輪ギクで問題となる奇形花について、発生しにくい選抜系統の普及を図る。	選抜系統を県内で3.4ha栽培した結果、奇形花の発生はほとんど見られなかった。
地域資源「大麦焼酎粕」活用技術の確立	アルストロメリアに対する肥料として大麦焼酎粕を利用する技術の普及を図る。	竹田市の1戸の農家で効果を実証した結果、高単価時の出荷が増え、収益向上につながる技術との評価を得た。
研究を支える基礎調査と優良種苗管理	ヤマジノギクの優良系統について、現地試作を行い評価を得る。	現地試験に供した4系統のうち特に評価が高かった1系統を販売系統とした。

## II-5 畜産研究部

### 1. 組織および職員配置状況

#### (1) 組織



#### (2) 職員配置状況

平成29年4月1日現在

組織	職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
		事務	技術						
部	部長		1					1	
次	次長	1	1					2	
管	管理担当	4						4	
企	企画指導担当		5					5	広域普及指導員3名
種	種雄牛チーム		2	1	3			6	
肉	肉用牛改良肥育チーム		3	2	1			6	
肉	肉用牛繁殖・酪農チーム		5	5	1			11	
飼	飼料・環境チーム		4	2	1			7	
豚	豚・鶏チーム		6	2	3			11	
計		5	27	12	9	0	0	53	

#### (3) 業務

- ① 肉用牛の改良増殖、種雄牛造成並びに精液供給
- ② 肉用牛の飼養技術及び繁殖技術
- ③ 乳用牛の飼養技術及び繁殖技術
- ④ 牧草及び飼料作物の系統選抜、栽培管理・貯蔵技術、自給飼料成分分析並びに畜産環境対策
- ⑤ 豚の育種、飼養管理技術並びに精液供給
- ⑥ 家きんの育種並びに飼養管理技術

2. 試験研究課題

畜産研究部

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
I 大課題、 1中課題 ・研究項目 ※「・研究項目」以下の区分：1）、（1）、①				
I 構造改革を加速し、もうかる農林水産業を実現するための研究開発				
1 構造改革の更なる加速のための技術開発				
・ 肉用牛・酪農の生産性向上と粗飼料基盤確立のための技術開発				
1) 黒毛和種における短期肥育技術の確立	肉用牛繁殖・酪農	大分家保	H29～30	県単
2) 和牛肥育期間の大幅な短縮技術の開発	肉用牛繁殖・酪農	農研機構、関係各県・大学等	H28～32	国庫
3) コントラクターを軸とした粗米サイレージの広域流通体制の構築と利用技術の開発	飼料・環境	農業公社やまくに、梓葉市が23-農技会	H28～30	県単
・ ICTを活用したワークライフバランスを実現する技術の開発				
1) 周年親子放牧に適した牧草種の選定及び冬季飼料資源の開発	飼料・環境	農研機構、関係各県	H28～32	国庫
2 ブランド化のための技術開発				
・ 「おおいた豊後牛」銘柄確立のための優秀種雄牛※の造成			H29該当なし	
・ 生産者の所得向上を目指した「スーパー母豚」自農場作出システムの構築				
1) 食肉脂質測定装置を用いた豚肉脂質測定システムの開発と豚肉脂肪中のオレイン酸含有率向上技術の確立	豚・鶏		H28～30	県単
・ 優秀種豚造成のための豚凍結精液等の技術の開発			H29該当なし	
3 マーケットインの商品（もの）づくりを加速のための技術開発				
・ 高品質で安全性の高い牛肉生産を支える技術開発による美味しい「おおいた豊後牛」肥育技術の確立			H29該当なし	
・ 「Theおおいたブランド」※農産物を飼料に活用した「おおいた冠地どり」の銘柄強化			H29該当なし	
・ 高付加価値地鶏の作出				
1) 「おおいた冠地どりシャボン」の開発～精巢除去による長期肥育技術の開発～	豚・鶏		H27～29	県単
2) 「おおいた冠地どり」の安定生産技術の確立～精液の凍結保存技術の研究～	豚・鶏		H27～29	県単
4 力強い担い手を育成するための技術開発				
・ 牛の受胎率向上技術の開発				
1) 液状精液を活用した牛の受胎率向上技術の開発～牛の液状精液用精液希釈液の開発～	種雄牛		H28～30	県単
・ 最新繁殖技術を支える受精卵移植※技術の開発				
1) 乳用種育成牛由来の雌受精卵による効率的後継牛確保対策	肉用牛繁殖・酪農		H28～30	県単
2) 酪農生産基盤強化に向けた黒毛和種体外受精卵生産技術の確立および乳牛の受胎環境改善方法の検討	肉用牛繁殖・酪農	大分県酪	H27～29	県単
・ 地鶏の遺伝子保存による安定生産及び安定供給			H29該当なし	
・ 県産粗飼料の品質の強化			H29該当なし	
・ 堆肥を活用した自給飼料基盤拡大のための技術開発			H29該当なし	
・ 新草種等の栽培・貯蔵技術の開発			H29該当なし	
5 地域資源の活用と環境対策のための技術開発				
・ 低コスト経営のための未利用資源を活用した飼料開発				
1) 強酸性草地の生産性回復技術の確立	飼料・環境	九州沖縄農研、九州各県	H27～29	県単
2) 乳用牛に向けた新TMRの開発及び給与試験（県産自給飼料及び製造粕類を取り入れた新しい発酵TMRの開発）	肉用牛繁殖・酪農	大分県酪	H27～29	県単
・ 未利用資源の活用による豚ブランド力の強化			H29該当なし	
・ 家畜利用の農村環境保全			H29該当なし	
II 研究を支える基礎調査と優良種畜管理				
・ 優秀種雄牛の造成				
1) 種雄牛検定				
(1) 直接法	肉用牛改良肥育		長期	県単
(2) 現場後代法	肉用牛改良肥育		長期	県単
2) 大分県種雄牛の産肉性に関する遺伝子領域解析及び効果検証	肉用牛改良肥育	家畜改良センター、関係各県	長期	県単
・ 牧草、飼料作物の優良品種・系統の選定				
1) 牧草類・飼料作物の奨励品種選定試験				
(1) とうもろこし	飼料・環境	九州沖縄農研、九州各県	長期	県単
(2) イタリアンライグラス	飼料・環境	九州沖縄農研、九州各県	長期	県単
(3) ソルガム	飼料・環境	九州沖縄農研、九州各県	長期	県単
(4) 暖地での周年グラス体系向きソルガムおよびイタリアンライグラスの耐病性品種の育成	飼料・環境	九州沖縄農研、九州各県	H26～30	国庫
・ 高品質豚生産のための種豚改良 L・W・Dの系統維持・増殖				
1) 原種豚の改良維持及び増殖				
(1) ランドレース種の系統維持・増殖	豚・鶏		長期	県単
(2) 大ヨークシャー種の改良増殖	豚・鶏		長期	県単
(3) デュロック種の能力維持	豚・鶏		長期	県単
・ 原種禽の系統維持及び増殖				
1) 原種禽の系統維持及び増殖				
(1) 「豊のしゃも」原種鶏	豚・鶏	熊本農研、宮崎畜試	長期	県単
(2) 「おおいた冠地どり」原種鶏	豚・鶏		長期	県単
(3) 「おおいた烏骨鶏」原種鶏	豚・鶏		長期	県単

### 3. 研究成果の公表及び情報発信

#### (1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数	
大分県種雄牛名簿・肉用牛現場後代検定成績	H29.6	1	1,500	
2017大分県黒毛和種 種雄牛	H29.8	28	2,000	畜産研究部監修
大分県基幹種雄牛一覧	H29.8	8	2,000	畜産研究部監修
第11回全国和牛能力共進会	H29.12	4	1,000	畜産研究部監修

#### (2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
Katsuhiko TSURUOKA, Hidenobu KANAMARU, Hideyuki TAKAHASHI and Takafumi GOTOH	Preliminary study of the effects of condensed barley distillers soluble on rumen fermentation and plasma metabolites in Japanese Black cows	Animal Science Journal	Volume 88, Issue 4	610-617
後藤雅昭、岡崎哲司、島田昌之	人工授精の意義を理解し利用するーそして発展し続けるー	養豚の友	平成27年9月号	18-22

#### (3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H29.9.21	第80回 九州農業研究発表会専門部会(畜産部会)	志村 英明	地域農産物「甘太くん」の規格外品を給与した銘柄豚の作出技術の開発
		榎園 秀平	乳牛の雌選別精液を用いた人工授精の受胎率向上に関する研究
		森本 剣介	乳牛の体温動態に応じた暑熱システムの開発
H29.10.15	平成29年度 獣医学術九州地区学会	久々宮萌果	酪農生産基盤強化に向けた黒毛和種体外受精卵生産技術の確立
H29.11.10	農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業の研究成果発表 及び「和」の集積と活用の場 産学官連携協議会 ポスターセッション	後藤 雅昭	卵受精保持能、子宮・卵管内精子運動調整機構に着眼した効率的ブタ人工授精法の開発
H29.11.17	平成29年度 大分県家畜保健衛生並びに畜産関係業績発表会	小倉 初音	周年グラス体系の確立に向けたソルガムおよびイタリアンライグラスの耐病性品種の評価
		矢崎 竜	イネWCS、飼料用米を活用した「豊後・米仕上牛」のブランド力強化と生産性向上
		森本 剣介	乳牛の体温動態に応じた暑熱対策についての検討
		後藤 雅昭	生産者の所得向上を目指した「スーパー母豚」自家農場作出システムの構築
H29.12.14	平成29年度 第3回はやしセミナー	鶴岡 克彦	「学位取得を通して感じたこと」
H29.12.20	第2回 農林水産研究指導センター研究状況報告会	矢崎 竜	イネWCS、飼料用米を活用した「豊後・米仕上牛」のブランド力強化と生産性向上
H30.2.11	平成29年度 日本獣医師会獣医学術大会年次大会 日本産業動物獣医学会ーシンポジウム	藤田 達男	大分県における牛白血病発症抵抗性遺伝子に着目した黒毛和種の育種戦略
	平成29年度 日本獣医師会獣医学術大会年次大会 日本産業動物獣医学会ー市民公開シンポジウム	佐藤 邦雄	食肉脂肪酸中のオレイン酸に関する試験研究の取組み

#### (4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
大分県家畜保健衛生並びに畜産関係業績発表会	H29.11.17	大分県庁 正庁ホール	4	100
平成29年度第2回農林水産研究指導センター研究状況報告会 (イネWCS、飼料用米を活用した「豊後・米仕上牛」のブランド力強化と生産性向上) ※再掲：(3) 研究会、学会等での発表	H29.12.20	県庁舎本館 91会議室	1	58

## 4. 研究成果の普及、技術指導

## (1) 講習会、研修会等の開催(1/2)

## ア 受託研修

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H29.5.29	家畜保健衛生所職員採血技術研修	部内(三重)	15	畜産振興課
H29.6.7	家畜保健衛生所職員繁殖技術研修	部内	10	畜産振興課
H29.6.14	家畜保健衛生所職員繁殖技術研修	部内	11	畜産振興課
H29.6.22-24	新採用普及職員研修	部内	6	地域農業振興課
H29.8.21	獣医系インターンシップ研修	部内	4	畜産振興課
H29.11.6-12.8	家畜人工授精講習会	部内	16	畜産振興課

## イ 視察研修

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H29.4.3	J A延岡和牛女性部視察	部内	30	J A延岡和牛女性部
H29.4.19	山香町和牛改良組合視察研修	部内	20	山香町和牛改良組合
H29.5.11	九州大学農学部生物資源環境学科学生視察	部内	22	九州大学農学部
H29.5.16	農業大学校視察研修	部内	10	県立農業大学校
H29.5.25	久住中学校学生職場体験学習	部内	1	竹田市立久住中学校
H29.6.2	九州大学農学部生物資源環境学科学生視察	部内	20	九州大学農学部
H29.7.21	別府大学学生視察	部内(三重)	9	別府大学
H29.7.28	九大農学研究教授等野草地視察研修	部内	5	
H29.8.21	小学生夏休み自由研究研修	部内(三重)	3	本人
H29.9.15	九州大学農学部生物資源環境学科学生視察	部内	20	九州大学農学部
H29.9.20	山口県和牛生産者視察	部内	10	
H29.10.6	九州大学農学部生物資源環境学科学生視察	部内	30	九州大学農学部
H29.10.23	玖珠美山高校学生視察	部内	1	本人
H29.11.12	J A宮崎中央南宮崎支店畜産青年部視察	部内	10	宮崎中央農協南宮崎支店畜産青年部
H29.11.14	岩手県職員視察研修	部内	1	岩手県畜産課
H29.11.22	大阪食肉業者たくみ従業員視察	部内	7	たくみ
H29.11.29	J Aこばやし畜産部及び小林市役所視察研修	部内	7	小林農協畜産部
H29.12.15	東部肉用牛育種改良組合視察研修	部内	20	東部肉用牛育種改良組合
H30.1.19	竹田市和牛振興会久住支部視察	部内	20	竹田市和牛振興会
H30.1.24	玖珠美山高校学生視察研修	部内	10	県立玖珠美山高校
H30.3.1	韓国苑視察	部内	25	県内食肉業者
H30.3.2	熊本県菊陽町放牧組合視察	部内	10	菊陽町放牧組合
H30.3.16	県農協肥育部会視察	部内	20	大分県農協畜産課
H30.3.26	佐城和牛改良組合女性部視察	部内	40	佐城和牛改良組合

## ウ 講師派遣(その1)

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H29.4.4	竹田市精液譲渡及び家畜人工授精台帳検査	竹田市	30	
H29.4.7	西部地域精液譲渡	玖珠町	30	
H29.4.11	北部・東部地域精液譲渡	宇佐市	20	
H29.4.17	豊肥・南部地域精液譲渡及び家畜人工授精台帳検査	竹田市	30	
H29.4.28	西部家畜人工授精師会総会	玖珠町	15	
H29.5.2	竹田市精液譲渡	竹田市	15	
H29.5.9	西部地域精液譲渡	玖珠町	30	
H29.5.11	玖珠家畜市場研修	玖珠町	100	
H29.5.12	豊肥家畜市場研修	竹田市	100	
H29.5.15	中央地域精液譲渡	由布市	20	
H29.5.18	豊肥・南部地域精液譲渡	竹田市	30	
H29.6.2	竹田市精液譲渡	竹田市	15	
H29.6.6	西部地域精液譲渡	玖珠町	30	
H29.6.9	北部・東部地域精液譲渡	宇佐市	20	
H29.6.16	豊肥・南部地域精液譲渡	竹田市	30	
H29.6.27	竹田市議会議員研修会	竹田市	30	竹田市議会
H29.7.4	竹田市精液譲渡	竹田市	15	
H29.7.7	西部地域精液譲渡	玖珠町	30	
H29.7.12	北部・東部地域精液譲渡	宇佐市	20	
H29.7.18	農大特別講義(和牛改良研修)	豊後大野市	15	県立農業大学校
H29.8.2	竹田市精液譲渡	竹田市	15	
H29.8.4	西部地域精液譲渡	玖珠町	30	
H29.8.8	豊後大野市畜産共進会	豊後大野市	80	
H29.8.8	北部・東部地域精液譲渡	宇佐市	20	
H29.8.10	竹田市畜産共進会	竹田市	80	
H29.8.18	豊肥・南部地域精液譲渡	竹田市	30	
H29.9.4	竹田市精液譲渡	竹田市	15	
H29.9.6	西部地域精液譲渡	玖珠町	30	
H29.9.12	中央地域精液譲渡	由布市	20	
H29.9.15	豊肥・南部地域精液譲渡	竹田市	30	
H29.9.18	玖珠家畜市場研修	玖珠町	100	
H29.9.19	豊肥家畜市場研修	竹田市	100	
H29.9.20	日田畜産共進会	玖珠町	80	
H29.10.3	竹田市精液譲渡	竹田市	15	
H29.10.5	玖珠・日田地域家畜人工授精台帳検査	日田市・玖珠町	70	
H29.10.6	西部地域精液譲渡	玖珠町	30	

(1) 講習会、研修会等の開催(2/2)

ウ 講師派遣 (その2)

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H29.10.7	県共(肉牛の部)	豊後大野市	100	
H29.10.11	豊肥家畜市場研修	竹田市	100	
H29.10.11	北部・東部地域精液譲渡	宇佐市	20	
H29.10.12	玖珠家畜市場研修	玖珠町	100	
H29.10.14	県共(種畜の部)	別府市	150	
H29.10.18	豊肥・南部地域精液譲渡	竹田市	30	
H29.10.25	県共(乳用牛の部)	大分市	100	
H29.11.2	竹田市精液譲渡	竹田市	15	
H29.11.7	西部地域精液譲渡	玖珠町	30	
H29.11.9	北部・東部地域精液譲渡	宇佐市	20	
H29.11.10	中央地域精液譲渡	由布市	20	
H29.11.16	豊肥・南部地域精液譲渡	竹田市	30	
H29.11.24	家畜人工授精研修会	別府市	20	
H29.12.6	竹田直入地域家畜人工授精師研修会	竹田市	10	
H29.12.13	中央地域家畜人工授精台帳検査	由布市・大分市	30	
H29.12.15	中津下毛和牛改良組合研修会	中津市	30	
H29.12.18	豊肥・南部地域精液譲渡	竹田市	30	
H30.1.9	竹田市精液譲渡	竹田市	15	
H30.1.12	西部地域精液譲渡	玖珠町	30	
H30.1.15	北部・東部地域精液譲渡	宇佐市	20	
H30.1.16	中央地域精液譲渡	由布市	20	
H30.1.18	西部地区家畜人工授精師協会研修会	玖珠町	30	
H30.1.19	豊肥・南部地域精液譲渡	竹田市	30	
H30.2.2	竹田市精液譲渡	竹田市	15	
H30.2.6	西部地域精液譲渡	玖珠町	30	
H30.2.8	北部・東部地域精液譲渡	宇佐市	20	
H30.2.13	肉用牛改良研修会(肉改連主催)	別府市	120	
H30.2.16	豊肥・南部地域精液譲渡	竹田市	30	
H30.2.19	西部地区畜産研修会	玖珠町	40	
H30.3.5	竹田市精液譲渡	竹田市	15	
H30.3.6	竹田市畜産座談会(直入地区)	竹田市	90	
H30.3.7	西部地域精液譲渡	玖珠町	30	
H30.3.8	竹田市畜産座談会(竹田地区)	竹田市	100	
H30.3.8	豊後大野市家畜人工授精師研修会	豊後大野市	30	
H30.3.12	北部・東部地域精液譲渡	宇佐市	20	
H30.3.13	中央地域精液譲渡	由布市	20	
H30.3.16	豊肥・南部地域精液譲渡	竹田市	30	

(2) 受入研修

① 長期研修受け入れ

対象者	所属	研修内容	期間
小野 裕士	日田市	大分県立農業大学校 就農準備研修畜産コース	4月7日～12月15日
麻生 龍二	日田市	大分県立農業大学校 就農準備研修畜産コース	4月7日～7月14日
受講者16名	県内	家畜人工授精(牛)講習会	11月6日～12月8日

② 生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	10	187
団体等職員	0	0
普及指導員	1	6
学生	7	115
児童・生徒	4	15
海外からの視察者	0	0
その他	4	38
計	26	361

※大学

※小中高校



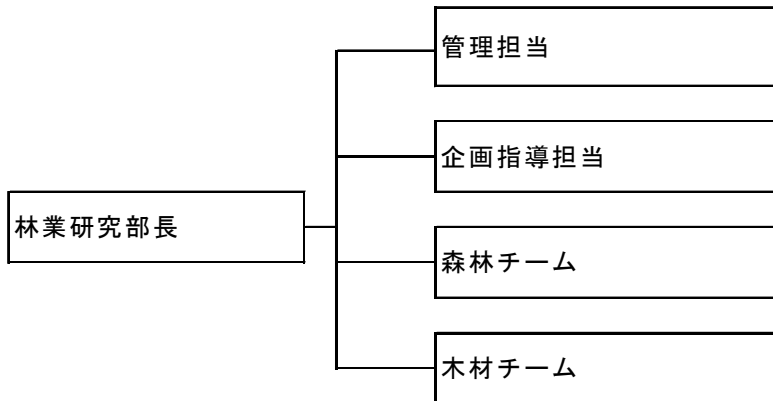
(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
産肉成績歴代1位、但馬系種雄牛「安森照」の凍結精液供給による優良子牛の産子調査及び保留について	県内で飼養されている黒毛和種繁殖雌牛は「但馬系」種雄牛産子が少ない。「安森照」は県内の多くの繁殖雌牛に交配が可能であるため、凍結精液の供給を図るとともに産子調査を行い、能力の高い雌子牛の自家保留を推進する。	1,302本の凍結精液を譲渡。家畜市場・肉用牛農家において、生産子牛の産子調査を行うとともに、凍結精液譲渡時や家畜市場・研修会等を通じて交配指導、情報提供を行った。農家巡回においては雌牛の保留に努めるよう指導した。
焼酎粕濃縮液とイネ発酵粗飼料を活用した肉用牛子牛育成技術の開発	焼酎粕濃縮液とイネ発酵粗飼料を給与した牛肉生産の増大を図る。	研究成果の現地説明を行うとともに、給与経営体への技術指導を行った。焼酎粕濃縮液とイネ発酵粗飼料給与農場数は3農場となった。
牧草類・飼料作物の奨励品種選定試験	水田における転作作物としての飼料用トウモロコシの普及定着を図る。	宇佐市の水田に50aの実証展示圃を設置。7月の台風の影響で倒伏が発生したため、8月に収穫し再度トウモロコシの播種を行い、12月に2回目の刈り取りを行った。
牛の発情検知システムの開発	先に開発した首輪型の加速度センサーを活用した発情検知システムに、新たに方位センサーを付与することで、さらなる発情発見率の向上を目指す。	産業科学技術センターで、新たなセンサーを開発し、牛舎へ監視用カメラ、牛体へセンサーを装着し発情兆候との関連性を調査した結果、新たなセンサーによる発情発見の可能性が示唆された。
「おおいた冠地どり」の銘柄確立と出荷羽数の拡大	飼養管理技術を確立して商品の均一化を図り、また県産飼料米の給与により特色ある冠地どり肉を生産し、銘柄確立と出荷羽数の拡大を図る。	飼養農家全戸（6戸）の巡回指導を実施し、幼雛期の保温管理や飼料給与方法を指導した。冠地どり銘柄協議会への飼養管理講習会を3回実施した。また、生産拡大に向け梶原種鶏孵化場と素雛供給方法や種鶏飼育についても打合せを2回行った。

## II-6 林業研究部

### 1. 組織および職員配置状況

#### (1) 組織



#### (2) 職員配置状況

平成29年4月1日現在

組織	職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
		事務	技術						
部	管	3	1					1	
企	理							3	
画	指		3(1)					3(1)	(兼)林務管理課広域普及指導員1名
森	導		5	1		1		7	
林	担		6(1)					6(1)	(兼)産業科学技術センター 製品開発支援担当主幹研究員1名
木	一								
	ム								
	ム								
	計	3	15(2)	1	0	1	0	20(2)	

#### (3) 業務

- ① 育種・育林技術の開発に関する試験研究
- ② 環境を守る森林整備に関する試験研究
- ③ 県産材の需要拡大に関する試験研究

2. 試験研究課題

林業研究部

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
<b>I 大課題、 1中課題 ・研究項目</b>				
※「・研究項目」以下の区分：1）、（1）、①				
<b>I 構造改革を加速し、もうかる農林水産業を実現するための研究開発</b>				
<b>1 構造改革の更なる加速のための技術開発</b>				
・ ICT技術を活用した高生産システムの開発			H29該当なし	
・ 非住宅や高層建築の木造・木質化の推進を図る新たな木質材料の開発				
1) 県産材を用いた直交集成板（CLT）の開発に関する研究	木材チーム	なし	H27～29	県単
2) 一般流通製材を用いた大断面柱材の開発	木材チーム	なし	H29～30	県単
・ CLT等大型木造建築物への接合技術※（G I R、L S B等）の開発			H29該当なし	
・ スギ・ヒノキ材の不燃技術の開発			H29該当なし	
・ セルロースナノファイバー※等を活用した新素材の開発			H29該当なし	
<b>2 ブランド化のための技術開発</b>				
・ 造林樹種における優良品種の選抜				
1) スギ奨励品種さし木苗の増産に関する研究	森林チーム	なし	H27～29	県単
2) 次世代の森林づくりに向けたヒノキ優良品種の選抜	森林チーム	なし	H29～31	県単
・ 低コスト育林技術の開発・実証			H29該当なし	
・ ブランド化を目指したオール県産材家具、工芸品の開発			H29該当なし	
・ 遺伝子工学を利用した品種改良			H29該当なし	
<b>3 マーケットインの商品（もの）づくりを加速のための技術開発</b>				
・ 造林樹種における優良品種の選抜			H29該当なし	
・ スギ大径材の効率的な製材・乾燥技術の開発				
1) 県産スギ大径材の有効利用技術に関する研究－心去構造材－	木材チーム	なし	H27～29	県単
・ 桝組壁工法への県産スギ・ヒノキ利用技術の開発			H27該当なし	
・ 土場・市場等での丸太選別技術（強度/含水率等）の開発			H28該当なし	
・ 中・大規模木造建築物等の維持管理技術（居住性・耐久性等）の開発			H29該当なし	
・ マイクロ波等を活用した高速・高品質乾燥技術の開発				
1) 内装・家具に最適な県産材乾燥技術の開発	木材チーム	なし	H29～30	県単
・ 早生樹等の材質特性（強度・加工・耐久性能）と利用技術の開発			H29該当なし	
・ 薬用系機能性樹木の栽培技術の開発			H29該当なし	
<b>4 力強い担い手を育成するための技術開発</b>				
・ スギ挿し木苗の増産技術の確立			H29該当なし	
・ ロボット等作業負荷軽減システムの開発			H29該当なし	
・ 早生品種の選抜と育林技術の確立システムの確立			H29該当なし	
<b>5 地域資源の活用と環境対策のための技術開発</b>				
・ 森林病虫害対策			H29該当なし	
・ 強毒性センチウに対応する抵抗性マツの選抜			H29該当なし	
・ 伐採が及ぼす公益的機能への影響調査			H29該当なし	
・ 災害に強い森林づくり技術の確立			H29該当なし	
・ シカ捕獲対策の推進				
1) ニホンジカの誘引技術に関する研究	森林チーム	なし	H28～29	県単
・ 県産材の抽出成分（精油等）利用技術の開発			H29該当なし	
・ 竹材・未利用材の有効活用技術の開発			H29該当なし	
・ 県産広葉樹を活用した木育製品の開発と普及			H29該当なし	
<b>II 研究を支える基礎調査と優良種苗管理</b>				
・ スギ雄花着生状況調査(花粉飛散量予測と雄花生産量の把握)				
1) スギ花粉発生源地域推定事業	森林チーム	なし	H29	受託 (全林協)
・ 森林病虫害モニタリング(カシノナガキクイムシ等)			H29該当なし	
・ 優良種穂供給と苗木生産者への技術支援			H29該当なし	

### 3. 研究成果の公表及び情報発信

#### (1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	項数	部数
平成28年度林業試験場年報(第59号)	H29.6	78	200
林研だより(第79号)	H30.2	11	HP

#### (2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
山本 幸雄	大分県産スギの枠組壁工法用建築物への利用に向けて	公立林業試験研究機関研究成果選集	No.15 (2018)	73-74頁

#### (3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H29.10.28	第73回九州森林学会大会	豆田 俊治	デコイを使ったニホンジカの誘引について
H30.3.15	第68回日本木材学会大会	山田 康裕	大分県産スギ、ヒノキで構成したCLTの強度性能
H30.3.15	第68回日本木材学会大会	山本 幸雄	枠組壁工法建築物への大分県産スギ材利用に向けた研究
H30.3.28	第129回日本森林学会大会	松本 純	標準地調査における地上型レーザースキャナの可能性
H30.3.28	第129回日本森林学会大会	姫野 早和	ミニ穂を用いたスギさし木苗増産技術の検討

#### (4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
平成29年度第1回農林水産研究指導センター研究状況報告会 (枠組壁工法建築物への県産材利用に向けた研究)	H29.10.4	県庁舎本館 81会議室	発表:1課題	58
平成29年度 企業技術研修	H30.1.19	林業研究部	講演:1課題	30
平成29年度 農林水産研究指導センター 林業研究部 研究発表会	H30.2.15	林業研究部	口頭発表:3課題 特別講演:1課題	45

## 4. 研究成果の普及、技術指導

## (1) 講習会、研修会等の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
H29.5.25	山地災害対応機器管理研修会	大分県林業会館	59	大分県治山林道協会
H29.5.31	林業普及技術等習得研修(森林保護)	大分県庁舎	11	大分県
H29.6.12	おおいた林業アカデミー 採穂作業他	林業研究部天 ヶ瀬試験地	9	(公財)森林ネットおおいた
H29.7.5 H29.7.12 H29.7.19	大分県立農業大学校講義	大分県立農業大学校	53	大分県立農業大学校
H29.9.20 H29.9.21	試験研究機関における実践研修	林業研究部	9	大分県
H29.9.22	フォレストワーカー集合研修(3年目)	大分県林業研 修所	12	(公財)森林ネットおおいた
H29.10.3	林業全般基礎研修Ⅱ(前期)	林業研究部き のこグループ	11	大分県
H29.10.5	林業種苗生産事業者講習会	大分県庁舎	5	大分県
H29.10.17	フォレストワーカー集合研修(3年目)	大分県林業研 修所	12	(公財)森林ネットおおいた
H29.10.18	SSH指定校・大分県立日田高等学校 「日田の林業に関する探求活動」	林業研究部	31	大分県立日田高等学校
H29.11.8	林業全般基礎研修Ⅱ(後期)	林業研究部	14	大分県
H29.11.9	林業全般基礎研修Ⅱ(後期)	林業研究部	12	大分県
H29.11.14	林業就労支援講習	大分県林業研 修所	10	(公財)森林ネットおおいた
H29.11.17	九州地区森林技術者講習会	全労災ソレイ ユ	80	(一社)森林・自然環境技術者教育会 (公社)日本技術士会九州本部
H29.11.24	苗木生産初心者研修	大分県林業研 修所	11	(公財)森林ネットおおいた
H29.12.1	林業就労支援講習	大分県林業研 修所	10	(公財)森林ネットおおいた
H30.2.15	おおいた林業アカデミー 木材の特性と木取り他	林業研究部	9	(公財)森林ネットおおいた
H30.2.19	林業就労支援講習	大分県林業研 修所	4	(公財)森林ネットおおいた
H30.2.20	森林整備講習会	日田市大鶴振 興センター	90	日田市森林組合
H30.3.13	ドローンによる森林調査研修会	佐伯市蒲江	8	大分南部流域森林・林業活性化センター
H30.3.29	CLT建築物発注者向け講習会(第1回)	大分県林業会 館	26	大分県 大分県CLT技術者育成連絡協議会

(2) 受入研修

① 長期研修受け入れ

該当なし

② 生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数	
生産者	51	58	
団体等職員	59	421	
普及指導員	13	35	
学生	4	9	※大学
児童・生徒	3	101	※小中高校
海外からの視察者	0	0	
その他	59	350	
計	189	974	

③ 企業支援

区 分	件 数	金 額 (円)
依 頼 試 験	94	2,712,975
機 械 貸 付	577	305,660
技 術 相 談	160	—
企 業 訪 問	48	—

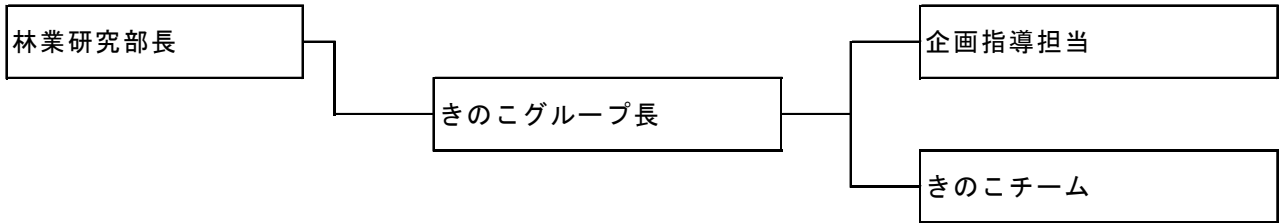
(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
早生有用広葉樹等を活用した短伐期林業に関する研究	短伐期林業に適すると期待される早生樹の導入を推進する。	県西部において、「おおいた早生樹研究会」の運営を支援し、実証林地への植栽と生長量調査を実施すると共に、広葉樹を取り扱う福岡県の材木市場を調査し、早生樹の現地普及を図った。

## II-7 きのごグループ

### 1. 組織および職員配置状況

#### (1) 組織



#### (2) 職員配置状況

平成29年4月1日現在

組織	職種	職員		技師	労務 技師	業務 技師	事務 補佐	計	備考
		事務	技術						
グ	ル		1					1	
企	画		3					3	広域普及指導員2名
き	の		5			1		6	
	計	0	9	0	0	1	0	10	

#### (3) 業務

- ① シイタケをはじめとするきのご類の栽培技術の改善・開発
- ② 栽培きのご類の育種技術による品種の改良・開発
- ③ 温暖化に対応した乾シイタケ安定生産技術の開発
- ④ クヌギチップを利用した菌床シイタケ及びキクラゲ栽培技術の開発
- ⑤ 病虫害等の防除技術の研究・普及
- ⑥ きのご類の分類・同定
- ⑦ 有用きのご類の遺伝子収集・保存による育種素材の確保
- ⑧ 研究成果の普及及び栽培技術指導
- ⑨ 新規参入者の研修・技術指導
- ⑩ 栽培技術情報の収集・管理と情報発信

2. 試験研究課題

林業研究部 きのごグループ

試験研究課題名	担当	連携	研究	予算
I 大課題、 1 中課題 ・研究項目	チーム	機関	期間	区分
※「・研究項目」以下の区分：1)、(1)、①				
<b>I 構造改革を加速し、もうかる農林水産業を実現するための研究開発</b>				
<b>1 構造改革の更なる加速のための技術開発</b>				
・ しいたけ栽培における省エネルギー及び施設利用技術の開発				
1) 菌床シイタケ栽培の省エネルギー制御技術の開発	きのご		H27~29	県単
・ しいたけ栽培の軽労働化技術の開発			H29該当なし	
<b>2 ブランド化のための技術開発</b>				
・ きのご類のブランド化に向けた品種開発				
1) 有用きのご類の品種改良				
(1) シイタケの優良品種の開発	きのご		H26~(30)	県単
(2) ナメコの優良品種の開発	きのご		H26~(30)	県単
(3) マーカー利用選抜による気候変動に適応した菌床栽培用シイタケ品種の開発	きのご	森林総合研究所	H28~32	国庫
<b>3 マーケットインの商品(もの)づくりを加速のための技術開発</b>				
・ しいたけの食味や機能性等の食品としての特性評価				
1) 県産乾シイタケの味覚と機能性に関する研究	きのご	九州大学 東京農業大学	H28~30	県単
2) 農林水産物の輸出拡大のためのきのご類の品質向上			H29該当なし	
<b>4 力強い担い手を育成するための技術開発</b>				
・ しいたけの生産力強化に向けた技術開発				
1) シイタケの原木栽培技術の確立				
(1) 乾シイタケ栽培における効率的発生操作技術の開発	きのご		H26~30	県単
(2) 原木シイタケの単収向上を目指した2年目発生操作技術の開発	きのご		H29~32	県単
(3) 原木生シイタケ栽培における冬期の生産量向上技術に関する研究			H29該当なし	
2) きのご類の病虫害防除技術の確立				
(1) きのご類栽培における害虫類の生態解明と防除技術			H29該当なし	
(2) 高品質シイタケ安定生産に向けた天敵利用によるケミカルレスな害虫	きのご	森林総合研究所	H28~30	国庫
<b>5 地域資源の活用と環境対策のための技術開発</b>				
・ クヌギチップや食品加工副産物等を利用したきのご類栽培技術の確立				
1) 地域資源を活用した新たなきのご栽培に関する研究	きのご		H28~30	県単
<b>II 研究を支える基礎調査と優良種苗管理</b>				
・ 野生きのご類の遺伝子収集と保存	きのご		H元~	県単

3. 研究成果の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
林業研究部きのごグループ業務年報(第28号)	H29年10月	75	250
情報誌「くらんぶ」第48号	H30年2月	7	2,000



(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載項
有馬 忍	きのこ安定生産のための病害防除技術	きのこの生理機能と 応用開発の展望		26-33
市野瀬桐香・石井秀之・飯田千恵美・有馬忍	原木乾シイタケ低温性品種の単収向上に関する研究	九州森林研究	71	125-128
有馬 忍	シイタケ腐敗病の防除について	九州森林研究	71	129-132
川口真司・有馬 忍	クヌギを利用した菌床アラゲキクラゲ栽培技術の開発	公立林業試験研究 機関研究成果選集	15	87-88

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H29.9.7	日本きのこ学会第21回大会	宮崎和弘・山内隆弘・後藤史和・石井秀之	選抜用DNAマーカーを活用したシイタケの高温発生菌株作出の試みについて I - 育種母材菌株から優良一核菌糸菌株の選抜 -
H29.9.7	日本きのこ学会第21回大会	有馬 忍・篠原弘亮・キムオッキョン・根岸寛光	土壌や子実体から分離されたシイタケ腐敗病菌 <i>Ewingella americana</i> の病原性
H29.9.7	日本きのこ学会第21回大会	宮澤紀子・江口文陽・飯田千恵美・有馬 忍	解凍方法の違いが冷凍生シイタケの嗜好性におよぼす影響
H29.9.7	日本きのこ学会第21回大会	宮澤紀子・飯田千恵美・江口文陽・有馬 忍	冷凍処理がシイタケの嗜好性に与える影響
H29.10.28	第73回九州森林学会大会	飯田千恵美・有馬 忍・宮澤紀子・江口文陽	冷凍および解凍処理が生シイタケの嗜好性に与える影響
H29.10.28	第73回九州森林学会大会	市野瀬桐香・石井秀之・飯田千恵美・有馬 忍	原木乾シイタケ低温性品種の単収向上に関する研究
H29.10.28	第73回九州森林学会大会	有馬 忍	シイタケ腐敗病の防除について
H30.3.15	第68回日本木材学会	宮澤紀子・江口文陽・飯田千恵美・有馬 忍	大分県産乾シイタケの収穫時期による嗜好特性

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
平成29年度第2回農林水産研究指導センター研究状況報告会 (クヌギを利用したアラゲキクラゲ菌床栽培技術の確立)	H29.12.20	県庁舎本館 91会議室	1	58
平成29年度きのこグループ研究発表会	H30.2.9	きのこグループ	特別講演 1 研究発表 3 情報提供 1	71

## 4. 研究成果の普及、技術指導

## (1) 講習会、研修会等の開催

## ア. 林業普及指導員研修

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H29.6.16	普及員養成試験研究実践研修	きのこグループ	4	林務管理課
H29.6.30	普及員養成試験研究実践研修	きのこグループ	3	林務管理課
H29.7.12	普及員養成試験研究実践研修	きのこグループ	4	林務管理課
H29.7.25	普及員養成試験研究実践研修	きのこグループ	4	林務管理課
H29.7.26	普及員養成試験研究実践研修	きのこグループ	4	林務管理課
H29.7.27	普及員養成試験研究実践研修	きのこグループ	4	林務管理課
H29.11.9	普及員養成試験研究実践研修	佐伯市他	3	林務管理課
H29.11.10	普及員養成試験研究実践研修	佐伯市他	3	林務管理課
H30.2.15	普及員養成試験研究実践研修	佐伯市他	3	林務管理課

32

## イ. 林業普及技術習得研修

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H29.10.4	林業全般基礎研修(Ⅱ)前期	きのこグループ	13	林務管理課
H29.10.24	林業全般基礎研修(Ⅰ)後期	きのこグループ	6	林務管理課

19

## ウ. 大分しいたけ源兵衛塾(第7期)

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H29.5.30	大分しいたけ源兵衛塾第5回研修会	佐伯市	18	林産振興室
H29.8.2	大分しいたけ源兵衛塾第6回研修会	きのこグループ	28	林産振興室
H29.10.27	大分しいたけ源兵衛塾第7回研修会	杵築市	28	林産振興室
H30.2.9	大分しいたけ源兵衛塾第8回研修会・卒塾式	きのこグループ	24	林産振興室

98

## エ. 新規参入者研修(栽培体験コースを含む)

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H29.6.23	新規参入者ステップアップ研修会	東部振興局	22	東部振興局
H29.9.3	第1回しいたけ栽培新規参入者研修会	きのこグループ	36	林産振興室
H29.9.7	第1回大分西部原木しいたけ栽培基礎研修会	日田市	16	西部振興局
H29.10.22	第2回しいたけ栽培新規参入者研修会	きのこグループ	31	東部振興局
H30.2.8	新規参入者ステップアップ研修会	豊後高田市	32	北部振興局・東部振興局
H30.2.18	第3回しいたけ栽培新規参入者研修会	きのこグループ	30	林産振興室
H30.3.2	第2回大分西部原木しいたけ栽培基礎研修会	日田市	7	西部振興局
H30.3.11	第4回しいたけ栽培新規参入者研修会	きのこグループ	24	林産振興室

## オ. きのこ生産研修

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H29.4.19	おのぼり会研修会	竹田市	22	豊肥振興局
H29.5.10	中津市椎茸振興協議会研修会	中津市	16	北部振興局
H29.6.2	宇目椎茸団地視察研修	佐伯市	15	豊肥振興局
H29.7.11	中津市原木生しいたけ研究会研修会	中津市	8	北部振興局
H29.7.20	しいたけ原基塾第1回研修会	きのこグループ	27	豊肥振興局
H29.8.30	大分県森友の会総会・研修会	別府市	59	森産業
H29.9.22	OSK県南地区地区連合会秋期栽培研修会	きのこグループ	65	豊肥振興局
H29.9.28	ほだ場のサル被害対策協議	豊後大野市	10	豊肥振興局
H29.10.16	プレミアム生しいたけ地区説明会	杵築市	8	森産業
H29.11.10	プレミアム生しいたけ出荷検討会	JA大分竹田事業部	50	林産振興室・森産業
H29.11.29	豊後大野市椎茸振興会三重支部栽培研修会	きのこグループ	10	豊肥振興局
H29.12.21	JAおおいた中西部事業部天瀬支部研修会	JA天瀬支部	15	
H29.12.14	しいたけ原基塾第2回研修会	きのこグループ	19	豊肥振興局
H29.12.5	豊後椎茸研究会役員研修会	きのこグループ	19	日本きのこセンター
H30.2.14	第55回安心院町椎茸生産組合通常総会研修会	宇佐市	43	北部振興局

386

## カ. 人材育成研修等

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H29.7.5	農業大学講義	きのこグループ	16	
H29.7.19	農業大学講義	きのこグループ	14	
H30.3.2	農業大学校研修生視察研修	きのこグループ	21	

51

## キ. 関係団体総会・会議

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H29.5.24	大分乾しいたけトレーサビリティ協議会総会	大分市	50	林産振興室
H29.5.29	大分県椎茸振興協議会通常総会	大分市	60	林産振興室
H29.6.9	生椎茸生産流通懇談会総会	県庁	20	林産振興室
H29.6.13	椎茸技術者会議	きのこグループ	14	
H29.11.2	椎茸技術者会議	きのこグループ	15	

159

ク. 品評会関係

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H29.4.18	第6回豊後大野市乾椎茸品評会審査会	豊後大野市	25	
H29.4.20	豊後大野市乾椎茸品評会表彰式	豊後大野市	110	
H29.4.21	第9回竹田市乾椎茸品評会審査会	OSK竹田支部	13	
H29.4.24	第11回東部地区乾椎茸品評会審査会	国東市	11	
H29.4.26	第11回東部地区乾椎茸品評会表彰式	国東市	73	
H29.4.26	第11回宇佐市乾椎茸品評会審査会	宇佐市	9	
H29.4.26	竹田市乾椎茸品評会表彰式	竹田市	60	
H29.4.27	佐伯市乾椎茸品評会審査会	OSK県南支部	11	
H29.4.29	佐伯市乾椎茸品評会表彰式	佐伯市	46	
H29.5.8	第60回大分県乾椎茸品評会審査会(箱物)	OSK本部	24	
H29.5.15	第60回大分県乾椎茸品評会審査会(袋物)	OSK本部	35	
H29.5.16	第60回大分県乾椎茸品評会審査会(袋物)	OSK本部	35	
H29.7.8	全国・大分県乾椎茸品評会表彰式	豊後大野市	800	
H29.11.21	第29回大分県生しいたけ品評会審査会	大分市	30	林産振興室
H29.11.22	第29回大分県生しいたけ品評会表彰式・講演会	大分市	150	林産振興室
H30.1.15	竹田市ほだ場コンクール審査会	竹田市	15	
H30.2.28	JAおおいた中西部事業部天瀬支部生椎茸品評会	JA天瀬支部	13	

1,312

ケ. 一般消費者関係

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H29.6.10	生しいたけ消費宣伝活動	大分市公設卸売市場	200	林産振興室
H29.7.9	森林ふれあいバスツアー(全国品評会関連行事)	きのこグループ	80	豊後大野市
H29.7.11	新田小学校第1回しいたけ教室	きのこグループ	14	豊肥振興局
H29.10.17	生しいたけ旬入り宣言式	大分市公設卸売市場	90	林産振興室
H29.10.7	大分県農林水産祭	別府市	400	
H29.10.8	大分県農林水産祭	別府市	500	
H29.11.11	農業大学校祭	豊後大野市	80	
H30.2.1	シイタケ体験学習会(世界農業遺産関連事業)	農業文化公園	32	
H30.2.16	生しいたけ販売促進活動(副知事トップセールス)	京都市	100	林産振興室
H30.2.20	大分県産乾しいたけ料理コンテスト審査	東京都	5	林産振興室

1,501

(2) 受入研修

① 長期研修受け入れ

氏名	所属	研修内容	期間
高橋 柚衣	別府大学	きのこ栽培に関する講義および実習	H29.8.21～9.11

② 生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	29	701
団体等職員	0	0
普及指導員	11	51
学生	3	51
児童・生徒	1	14
海外からの視察者	0	0
その他	0	0
合計	44	817

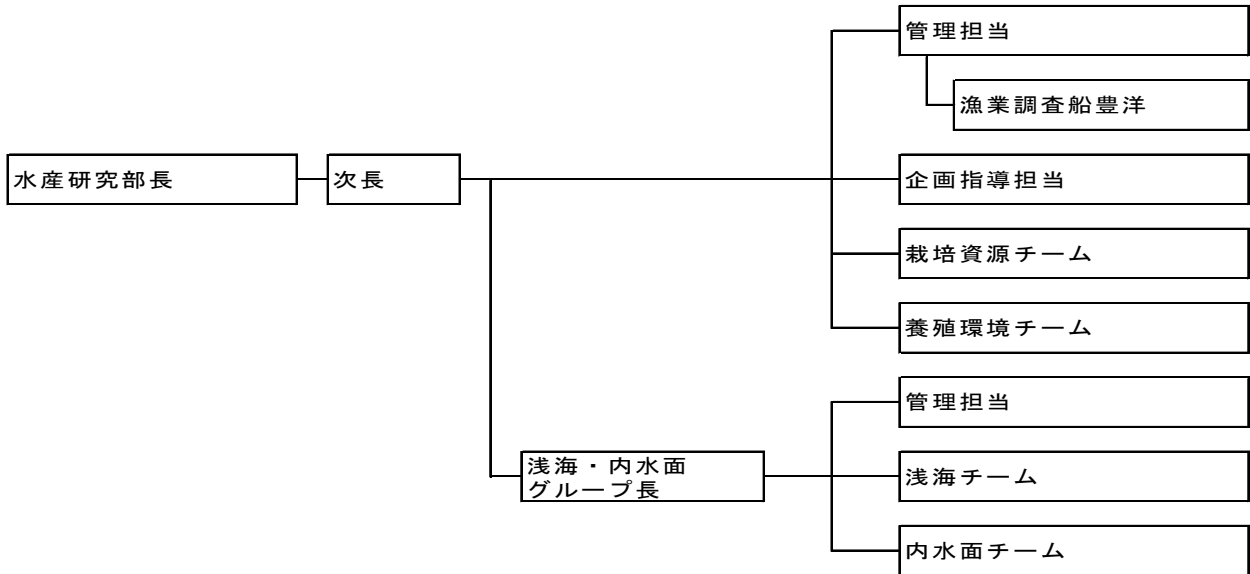
(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
シイタケほだ木の育成段階における水分管理技術の確立	栽培現場におけるほだ木育成期間の環境条件や管理方法がほだ木に及ぼす影響を明らかにし、ほだ木育成技術の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内6箇所の伏せ込み地で環境及びほだ化調査を行い、結果の分析やとりまとめを行う。</li> <li>・水分管理実施者を増やすため、源兵衛塾生を重点指導対象にする。</li> </ul>

II-8 水産研究部（浅海・内水面グループ含む）

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

平成29年4月1日現在

組織		職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
			事務	技術						
水産研究部	(上浦)	部長	1	1					1	海事職員7名
		次長	2	7					1	
		企画指導担当		2					2	
		栽培資源チーム		7					7	
		養殖環境チーム		7					7	
	浅海・内水面グループ	グループ長	1	1					1	
		管理担当	1	8					1	
		浅海チーム		3					8	
		内水面チーム		3					3	
		計	4	36	0	0	0	0	40	

(3) 業務

- ① 漁業の調査研究に関すること
- ② 漁業の生産及び技術指導に関すること
- ③ 水産動植物の増養殖に関すること
- ④ 漁業技術の改良普及に関すること
- ⑤ 水産動物の防疫等指導に関すること
- ⑥ 水産物の利用加工等指導に関すること
- ⑦ 漁場環境保全・赤潮防止技術に関すること
- ⑧ その他水産業の技術指導に関すること

2. 試験研究課題 (1/2)  
水産研究部所管分

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
<b>I 大課題、 1 中課題 ・ 研究項目</b>				
※「・研究項目」以下の区分：1)、(1)、①				
<b>I 構造改革を加速し、もうかる農林水産業を実現するための研究開発</b>				
<b>1 構造改革の更なる加速のための技術開発</b>				
・ 複合養殖に向けたヒラマサ種苗生産技術開発	栽培資源		H25～29	県単
・ 養殖生産の低コスト化・成長制御			H29該当無し	
・ 養殖手法・施設の改善			H29該当無し	
・ 流通改善・輸出促進支援研究				
1) 農林水産物輸出拡大対策	養殖環境			県単
<b>2 ブランド化のための技術開発</b>				
・ ヒラメの高水温耐性品種の作出(Ⅲ期)	栽培資源	養殖環境	H27～29	県単
・ 養殖生産物の品質改善				
1) カボスがつなぐブランド魚創出事業	養殖環境	別府大学	H27～29	県単
・ 生産物の品質評価技術確立			H29該当無し	
<b>3 マーケットインの商品(もの)づくりを加速のための技術開発</b>				
・ フリ種苗生産技術開発	栽培資源		H28～30	県単
・ マグロ種苗生産技術開発			H29該当無し	
・ 新規養殖対象種の種苗生産と養殖技術の開発				
1) フリ養殖業構造改革推進事業	栽培資源			県単
・ 養殖魚の抗病性強化法・新規ワクチン開発				
1) 魚病リスク回避型養殖技術開発研究	養殖環境		H29～31	県単
2) 地域養殖業振興対策事業(ヒラメクドア)	養殖環境			県単
3) 水産資源管理実践支援事業(アワビ検査)	養殖環境		H25～	県単
・ 養殖魚の寄生虫防除法開発				
1) 安心・安全で環境に優しい養殖推進事業(はだむし対策)	養殖環境			県単
・ 鮮度保持技術開発			H29該当無し	
<b>4 力強い担い手を育成するための技術開発</b>				
・ 資源に関する基礎調査(モニタリング調査)	栽培資源	(国研)水産研究・教育機構、関係県	H12～	委託
・ 豊予海峡周辺海域におけるマアジ・マサバの資源生態に関する研究	栽培資源		H27～29	県単
・ タチウオ資源回復推進に関する研究	栽培資源	(国研)水産研究・教育機構	H26～	国庫補助
・ アオリイカの資源生態研究				
1) 資源管理関係事業(モイカ)	栽培資源		H28～29	国庫補助
・ ハモの資源生態研究				
1) 戦略魚種ハモ資源管理対策事業	栽培資源		H28～30	県単
・ プリの資源生態研究			H29該当無し	
<b>5 地域資源の活用と環境対策のための技術開発</b>				
・ 磯焼け対策に関する技術開発(モニタリング調査)	栽培資源		H16～	県単
・ 赤潮・貝毒被害防止技術の開発				
1) 赤潮早期予測・早期対策実証事業	養殖環境	(国研)水産研究・教育機構	H27～29	県単委託
2) 漁場環境保全推進事業(赤潮・貝毒発生監視)	養殖環境			県単
3) 低水温期発生型赤潮対策強化事業	養殖環境			県単
・ 無給餌養殖・水産植物利用の推進			H29該当無し	
・ 環境保全に関する研究			H29該当無し	
・ 未利用水産物の有効利用研究			H29該当無し	
<b>II 研究を支える基礎調査と優良種苗管理</b>				
・ 基盤整備・栽培漁業・資源回復の推進に関する基礎調査	栽培資源		H26～	県単
・ 資源環境に関するデータの収集、情報の提供(情報提供事業)	栽培資源	(国研)水産研究・教育機構	長期	県単委託
・ 持続的養殖生産確保推進事業(海面防疫対策)(指導事業)	養殖環境	(国研)水産研究・教育機構	H12～	国庫補助委託
・ 養殖漁場の適正利用推進調査(モニタリング事業)	養殖環境		H12～	県単
・ 漁場環境・生物多様性保全総合対策委託事業(赤潮モニタリング)	養殖環境	(国研)水産研究・教育機構、山口県、福岡県等、浅海チーム	H25～	委託
・ 水産加工品等高度利用化指導(指導事業)	養殖環境	各振興局	H26～	県単

2. 試験研究課題 (2/2)

水産研究部 浅海・内水面グループ所管分

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
<b>I 大課題、 1 中課題 ・研究項目</b>				
※「・研究項目」以下の区分：1）、（1）、①				
<b>I 構造改革を加速し、もうかる農林水産業を実現するための研究開発</b>				
<b>1 構造改革の更なる加速のための技術開発</b>				
・ 海藻（ヒジキ、クロメ、ワカメ等）の新たな養殖技術開発 1) 養殖ヒジキの品質向上と養殖用種苗供給技術の確立（Ⅱ期）	浅海		H27～29	県単
・ クルマエビ養殖場を利用したアサリ養殖 1) クルマエビ養殖池でのアサリ生産システムの開発	浅海	(国研)水産研究・教育機構	H28～30	委託
<b>2 ブランド化のための技術開発</b>				
・ 養殖生産物の品質改善 1) おおいた農産品を利用して品質を高める飼料開発	内水面		H27～29	県単
<b>3 マーケットインの商品（もの）づくりを加速のための技術開発</b>				
・ カレイ類の生活史循環とその阻害要因の解明	浅海	(国研)水産研究・教育機構、山口、福岡、愛媛県	H25～30	委託
・ ナマコおよびアサリ等二枚貝の種苗生産技術開発 1) 高級二枚貝タイラギの種苗生産・増養殖技術の開発	浅海	(国研)水産研究・教育機構、香川、山口県	H27～33	県単委託
・ 新規養殖種及び増養殖手法の探索			H29該当無し	
・ 海藻類、カキ類、エビ類の種苗生産技術及び養殖技術の研修・指導 1) クロメ養殖推進事業	浅海		H29～	県単
・ 内水面における魚病診断及び魚病対策の研究	内水面	養殖環境	H12～	国庫補助
<b>4 力強い担い手を育成するための技術開発</b>				
・ 二枚貝の資源動向の把握および回復施策の検討 1) 地域重要魚貝類の資源動向及び回復施策に関する研究	浅海		長期	県単
・ ヒジキ資源増殖技術の開発	浅海		H29～31	県単
・ 資源に関する基礎調査（モニタリング調査） 1) 資源管理関係事業	浅海		—	県単
・ ハモの資源生態研究 1) 戦略魚種ハモ資源管理対策事業	浅海		H28～30	県単
・ ガザミの資源生態研究 1) 資源管理強化対策事業（ガザミ、オニオコゼ、トラフグ）	浅海		H28～	国庫補助
・ ヨシエビ、シャコ、カレイ類等の資源動向調査	浅海		—	県単
・ 資源保護のための漁具改良			H29該当無し	
・ 河川ごとの漁場評価による効果的な天然アユ増殖技術の開発			H29該当無し	
<b>5 地域資源の活用と環境対策のための技術開発</b>				
・ アサリ天然稚貝の利用と資源回復推進に関する研究 1) 生態系ネットワークの再生によるアサリ資源回復・生態系修復技術の開発	浅海	(国研)水産研究・教育機構、愛媛、岡山県	H25～29	委託
・ 海域の栄養塩等と生物生産に関する研究	浅海	(国研)水産研究・教育機構	H28～29	委託
・ 赤潮・貝毒被害防止技術の開発	浅海			県単委託
・ 水産生物を利用した環境改善技術の開発 1) ナマコの放流技術の向上と環境浄化機能の現場検証	浅海		H29～31	県単
・ 有害生物被害対策 1) 外来魚・カワウ等による被害軽減対策指導	内水面		長期	県単
・ 陸封アユ有効利用手法の開発 1) 三隈川水系におけるアユの生息環境の把握と陸封アユ有効利用手法の開発	内水面		H28～30	県単
<b>II 研究を支える基礎調査と優良種苗管理</b>				
・ 豊前海アサリ資源量調査 1) アサリ資源回復	浅海		—	県単委託
・ 基盤整備・栽培漁業・資源回復の推進に関する基礎調査	浅海		—	県単
・ 資源環境に関するデータの収集、情報の提供（浅海定線調査、情報提供等）	浅海		長期	県単
・ 資源環境に関する基礎データの収集	浅海		長期	県単
・ 天然アユ・ウナギ、イワメ及び在来アマゴ生息量のモニタリング 1) 漁場環境・水生生物に関するモニタリング調査（アユ、イワメ、アマゴ）	内水面		H21～	県単
2) 海域でのうなぎ生息調査事業	内水面	(国研)水産研究・教育機構	H28～30	繰入金
・ 河川環境モニタリング 1) 漁場環境保全推進事業（内水面）	内水面		H22～	県単
・ 持続的養殖生産確保推進事業（内水面防疫対策）（指導事業） 1) 魚病診断と対策指導	内水面	養殖環境	H12～	県単



## 3. 研究成果の公表及び情報発信

## (1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
おおいたアควア・ニュースNo.45	H29.9.1	16	50
おおいたアควア・ニュースNo.46	H30.1.31	10	50

## (2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載項
K. Kanai, M. Tsujikura, K. Shutou, T. Honma, F. Matsumoto, K. Suga, S. Takagi, <u>Y. Fukuda</u> and Y. Sugihara	A novel plasmid carrying capsule gene cluster found in <i>Lactococcus garvieae</i> isolated from filefish	Fish Pathology	52(2)	82-88
<u>Y. Fukuda</u> , K. Miyamura, E. Hitaka, <u>K. Kimoto</u> , Y. Sanada, T. Asai and K. Ogawa	Blood fluke infection of Japanese amberjack <i>Seriola quinqueradiata</i> in fish farms along the western coastal area of Bungo Channel, Japan	Fish Pathology	52(4)	191-197
M. Jinnai, T. Kawai, T. Harada, Y. Nishiyama, H. Yokoyama, S. Shirakashi, H. Sato, J. Sakata, Y. Kumeda, <u>Y. Fukuda</u> , K. Ogata and K. Kawatsu	Production of a novel monoclonal antibody applicable for an immunochromatographic assay for an immunochromatographic assay for <i>Kudoa septempunctata</i> spores contaminating the raw olive flounder ( <i>Paralichthys olivaceus</i> )	International Journal of Food Microbiology	259	59-67
T. Matsuyama, <u>Y. Fukuda</u> , T. Sakai, N. Tanimoto, M. Nakanishi, Y. Nakamura, T. Takano and C. Nakayasu	Clonal structure in <i>Ichthyobacterium seriolicida</i> , the causative agent of bacterial haemolytic jaundice in yellowtail, <i>Seriola quinqueradiata</i> , inferred from molecular epidemiological analysis	Journal of Fish Diseases	40(8)	1065-1075
T. Takano, Y. Nakamura, T. Matsuyama, T. Sakai, Y. Shigenobu, T. Sugaya, M. Yasuike, A. Fujiwara, H. Kondo, I. Hirono, <u>Y. Fukuda</u> and C. Nakayasu	Complete genome sequence of <i>Ichthyobacterium seriolicida</i> JBKA-6, isolated from yellowtail ( <i>Seriola quinqueradiata</i> ) affected by bacterial hemolytic jaundice	Genome Announcements	5(6)	e01574-16
T. Aoki, Y. Teru, N. Morimoto, T. Kono, M. Sakai, T. Takano, J. P. Hawke, <u>Y. Fukuda</u> , H. Takeyama and J. Hikima	Complete genome sequence of <i>Photobacterium damselae</i> subsp. <i>piscicida</i> strain OT-51443 isolated from yellowtail ( <i>Seriola quinqueradiata</i> ) in Japan	Genome Announcements	5(21)	e00404-17
福田 穰	魚病NOW：カワハギ類のシトガリコヅツヒジキムシ症	養殖ビジネス	54(10)	26
福田 穰	よくわかる！魚病対策と水産用医薬品 第1章 魚種別に見る疾病発生動向と対策 ヒラメ	養殖ビジネス	55(4)	27-30
宮村 和良	赤潮増殖抑制装置を用いた中層攪拌によるカレンニア・ミキモトイ赤潮抑制の試み	養殖ビジネス	54(12)	49-52
久米洋、村田憲一、茅野昌大、俵積田貴彦、岩野英樹、井口大輝、宮川博妃	瀬戸内海西部・豊後水道海域における赤潮モニタリングの現状	養殖ビジネス	54(13)	53-56
木村聡一郎	アサリの大量へい死があった1980年代のこと	瀬戸内海	74	67-68
山田英俊	大分県豊前海におけるアサリ漁業の現状とアサリ増養殖の取組	豊かな海	44	25-30
原田 真実・久米 学・望岡典隆・田村 勇司・神崎 東子・橋口 峻也・笠井 亮秀・山下 洋	大分県国東半島・宇佐地域の伊呂波川と桂川に設置したウナギ石倉かごにより採集されたニホンウナギと水生動物群集	日本水産学会誌	84(1)	45-53
山本 桂伊	大分ヒラマサの人工種苗生産と県産魚としてのPR	養殖ビジネス	54(8)	36-38

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H29. 9. 12	平成29年度日本魚病学会秋季大会	小林圭吾・白樫正・杉原志貴・ <u>福田穰</u> ・山下浩史・廣野育生・近藤秀裕	ハダムシ類のミトコンドリアDNAおよび核ゲノム塩基配列の比較
H29. 11. 1	中央ブロック資源海洋調査研究会	中尾拓貴	大分県沿岸域におけるマアジの漁況予測指標
H30. 3. 3	平成30年度日本魚病学会春季大会	小林圭吾・ <u>都留久美子</u> ・ <u>福田穰</u> ・廣野育生・近藤秀裕	ブリハダムシBenedenia seriolaеに対する新規DNAワクチンの開発
H30. 3. 27	平成30年度日本水産学会春季大会	紫加田知幸、高山剛、 <u>大竹周作</u> 、 <u>井口大輝</u> 、宮村和良	有害渦鞭毛藻Karenia mikimotoi赤潮発生時におけるトラフグのへい死および行動
H30. 3. 27	平成30年度日本水産学会春季大会	島崎洋平、宮村和良、 <u>大竹周作</u> 、 <u>井口大輝</u> 、本田清一郎、吉田光男、加藤宏晴、Xuchun Qiu、向井幸樹、奥川友紀、大嶋雄治	共焦点レーザー顕微鏡を用いた赤潮原因藻類のクロロフィル蛍光スペクトルの比較解析
H30. 3. 27	平成30年度日本水産学会春季大会	<u>山田英俊</u> ・兼松正衛	低塩分海水を用いたアサリ種苗生産手法の大型水槽への応用
H30. 3. 29	平成30年度日本水産学会春季大会	石樋由香・渡部諭史・松本才絵・ <u>山田英俊</u>	クルマエビ養殖池で複合養殖したアサリの餌料環境

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
平成29年度第1回農林水産研究指導センター研究状況報告会 (かぼすプリのおいしさの科学的根拠)	H29.10.4	県庁舎本館 81会議室	1	57
平成29年度第2回農林水産研究指導センター研究状況報告会 (高級魚キジハタの栽培漁業に関する研究～姫島をモデル海域として～)	H29.12.20	県庁舎本館 91会議室	1	58
平成29年度大分県水産関係研究者連絡協議会研究発表会	H30.1.25～26	水産会館	13	71

4. 研究成果の普及、技術指導  
(1) 講習会、研修会等の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H29.4.17	別府湾シラス予報情報交換会	別府市	17	豊後別府湾ちりめん協議会
H29.4.25	漁業士底曳部会総会	宇佐市	20	漁業士底曳部会
H29.5.17	かぼすヒラマサ研修会	佐伯市	34	大分県漁業協同組合
H29.5.18	注射ワクチン接種技術講習会	水産研究部	13	大分県水産養殖協議会
H29.5.19	かぼすブリ生産者研修会	佐伯市	13	大分県漁業協同組合
H29.5.20	豊前海青年協議会	宇佐市	23	豊前会青年協議会
H29.5.22	大分海区漁業調整委員会研究事例報告	大分市	22	大分海区漁業調整委員会
H29.6.8	平成29年度魚病及び赤潮担当者会議	佐伯市	26	
H29.6.26	豊後別府湾ちりめん協議会講習会	別府市	29	豊後別府湾ちりめん協議会
H29.6.29	かぼすシマアジ・かぼすフグ研修会	佐伯市	11	大分県漁業協同組合
H29.7.7	魚類養殖講習会	JF大分佐伯支店	52	大分県水産養殖協議会
H29.8.10	カボス粉末製造研修会	豊後高田市	7	大分県養殖協議会
H29.8.29	大分県漁業学校研修	臼杵市	1	大分県水産振興課
H29.9.1	かぼすヤマメ試食会・研修会	日田市	50	日田市内水面利活用推進協議会
H29.9.21	かぼすヒラマサ生産意見交換会	佐伯市	38	大分県漁業協同組合
H29.9.22	水産用抗菌剤の取扱いに係わる講習会	水産研究部	16	大分県水産養殖協議会
H29.9.29	水産用抗菌剤の取扱いに係わる講習会	水産研究部	15	大分県水産養殖協議会
H29.10.17	水産用抗菌剤の取扱いに係わる講習会	JF大分佐伯支店	17	大分県水産養殖協議会
H29.10.24	大分県漁業学校(魚類養殖学)	水産研究部	2	水産振興課
H29.10.25	水産用抗菌剤の取扱いに係わる講習会	JF大分上入津支店	7	大分県水産養殖協議会
H29.10.28	別府湾漁業青年協議会役員会	別府市	29	別府湾漁業青年協議会
H29.11.9	大分県立佐伯鶴城高校研修会	水産研究部	14	大分県立佐伯鶴城高校
H29.11.14	水産用抗菌剤の取扱いに係わる講習会	JF大分下入津支店	25	大分県水産養殖協議会
H29.11.14	トラフグ養殖部会講習会	JF大分下入津支店	15	大分県水産養殖協議会
H29.11.17	県漁協国見支店潜水組総会	国東市	20	大分県漁協国見支店
H29.11.21	水産用抗菌剤の取扱いに係わる講習会	JF大分蒲江支店	7	大分県水産養殖協議会
H29.12.5	内水面魚病講習会	別府市	34	
H30.1.22	かぼすヒラマサ研修会	臼杵市	6	大分県漁業協同組合
H30.1.30	養殖ヒラメに寄生するkudoa septempunctataによる食中毒防止研修会	佐伯市	19	水産振興課
H30.1.31	大分県漁業学校・大分県漁業士研修	水産研究部	5	大分県水産振興課
H30.2.5	かぼすヒラマサ研修会	佐伯市	7	大分県漁業協同組合
H30.2.6	第43回全国海水養殖シンポジウム	別府市	400	全国海水養魚協会
H30.2.8	養殖ヒラメに寄生するkudoa septempunctataによる食中毒防止研修会	佐伯市	30	水産振興課
H30.2.8	かぼすヒラメ研修会	佐伯市	15	水産振興課
H30.2.9	東国東漁業青年協議会学習会	別府市	26	東国東漁業青年協議会
H30.2.10	大分県南海区漁業青年・女性合同研修会	佐伯市	50	南部漁業青年協議会、佐伯地区漁協女性部連絡協議会
H30.2.21	大分川学習会	大分市	50	大分川漁業協同組合
H30.3.7	地域振興のための資源培養技術の高度化に関する共同研究報告会	姫島村	28	水産振興課
H30.3.9	カボス粉末製造研修会	豊後高田市	8	大分県水産養殖協議会
H30.3.10	大分県タチウオ資源回復漁業者検討会	大分市	27	大分県漁業協同組合
H30.3.16	養殖技術・経営向上対策講習会	JF大分佐伯支店	45	大分県水産養殖協議会
H30.3.17	周防灘小型底びき網漁業者検討会	宇佐市	16	大分県漁協
H30.3.17	豊前海アサリ漁業者検討会	宇佐市	17	大分県漁協
H30.3.29	かぼすヒラメ・LEDヒラメ研修会	佐伯市	15	大分県漁業協同組合
H30.3.23	中津干潟を元気にする検討会	中津市	21	中津干潟を元気にする会
H30.3.26	北郡一本釣りと臼津まき網漁業との調整会議	臼杵市	25	大分県漁業協同組合

(2) 受入研修

① 長期研修受け入れ

該当なし

② 生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	10	64
団体等職員	5	69
普及指導員	0	0
学生	2	11
児童・生徒	3	77
海外研修者	1	3
その他	3	54
総計	24	278

※大学生

※小中高校生

(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
「かぼすブリ」生産体制の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「かぼすブリ」は柑橘系養殖魚のブランド魚として、県内外に知られ需要も急増している。今後の確固たるブランドの確立と、生産体制の拡充のため、以下の検討を行う。</li> <li>・柑橘系養殖魚は他県でも類似品が出始めている。ブランド化・他県との差別化をより明確にするため、カボス投与の効果の数値化を進める。</li> <li>・市場から、通常よりも早期(夏季)のかぼすブリ出荷の要望が出ており、その試験を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①カボス投与効果の数値化</li> <li>・晩期かぼすブリ生産試験4月に実施(4業者)。香り成分の検出は十分であったが、血合筋褐変効果が少なくなることを数値化し、検証。生産時期を3月までとするマニュアルの科学的根拠を示した。</li> <li>②早期生産技術の開発</li> <li>・かぼすブリ早期養成試験を8月に実施(1業者)。生産者の果皮(0.5%)投与魚を検査し、17回投与で、血合筋の褐変遅延効果を確認。当結果から、販売を従来より2ヵ月早め9月からの販売につながった。</li> </ul> <p>平成29年「かぼすブリ」生産量は、3月末現在で、570tと推定されている(水産振興課データ)。</p>
建材ブロックを活用したヒジキ増殖の普及	<p>ヒジキ採取量は増加傾向にあるが、過剰漁獲による資源の減少が懸念される。そこで、現場でできる増殖手法として、安価な建材ブロック等を基質とした増殖手法の普及を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主な地区について経過観察を実施。国見12/18調査でヒジキ着生率は不良。安岐12/9調査でヒジキ着成は良好。ただし波浪の影響で破損したブロックが散見され、設置場所について再検討が必用。</li> <li>日出でヒジキブロックの設置に初めて取り組んだが上手く付着できず。</li> <li>香々地12/20、1/19ヒジキ着定は良好だが、低水温の影響で成長の遅れを確認。3月には良好な成長。ただし、急速な水温上昇のためか汚れを確認。</li> <li>米水津3/5ヒジキ着定は良好・順調な生育を確認。建材ブロック以外の基質であるスポンジでもヒジキ着定を確認</li> </ul>

農林水産研究指導センター研究部・グループの所在地及び連絡先

組織名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX番号
農林水産研究指導センター（本部）	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺2328-8	0974-28-2074	0974-28-2052
○農業研究部	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺2328-8	0974-22-0670	0974-22-0675
水田農業グループ	872-0103	宇佐市大字北宇佐65	0978-37-1141	0978-37-0036
果樹グループ	873-0511	国東市国東町小原4402	0978-72-0407	0978-72-3402
カボス・中晩柑チーム	879-2413	津久見市大字津久見浦3456	0972-82-2837	0972-82-5322
ナシ・ブドウチーム	872-0103	宇佐市大字北宇佐65	0978-37-0149	0978-37-1437
花きグループ	874-0844	別府市大字鶴見710-1	0977-66-4706	0977-67-5218
○畜産研究部	878-0201	竹田市久住町大字久住3989-1	0974-76-1216	0974-76-1227
豚・鶏チーム	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺2328-8	0974-22-0673	0974-22-0980
○林業研究部	877-1363	日田市大字有田字佐寺原35	0973-23-2146	0973-23-6769
きのこグループ	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺2369	0974-22-4236	0974-22-6850
○水産研究部	879-2602	佐伯市上浦大字津井浦194-6	0972-32-2155	0972-32-2156
浅海・内水面グループ	879-0608	豊後高田市呉崎3386	0978-22-2405	0978-24-3061
内水面チーム	872-0504	宇佐市安心院町荘42	0978-44-0329	0978-34-4050

平成29年度  
大分県農林水産研究指導センター業務年報

平成30年5月発行

編集 大分県農林水産研究指導センター  
発行  
〒879-7111  
豊後大野市三重町赤嶺2328-8  
TEL 0974-28-2074  
FAX 0974-28-2052